

決算に係る主要な施策の成果

平成23年度

目 次

○ 決算に係る主要な施策の成果

一 一般会計

議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	19
衛 生 費	34
労 働 費	46
農 林 水 産 業 費	49
商 工 費	58
観 光 費	62
土 木 費	67
消 防 費	84
教 育 費	89
災 害 復 旧 費	109
公 債 費	112
国民健康保険特別会計	113
後期高齢者医療特別会計	116
介護保険特別会計	117
観光交通対策特別会計	123
都市計画税の充当状況	125
費目別不納欠損の状況	126

主 要 な 施 策 の 成 果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予算現額 406,792 千円
 決算額 400,828 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				400,828

議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 政務調査費	6,195	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	111
2. 議会広報経費	9,118	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配布した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をCATVで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送 本会議放映 1日2回 延べ22日 予算・決算特別委員会放映 1日2回 延べ11日 ○会議録検索システムインターネット配信 市議会本会議の会議録をインターネットを通じて配信し、情報公開の充実を図った。	111

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 1,943,999 千円
 決算額 1,923,567 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28	7,830		5,570	1,910,139

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 行財政改革推進事業	182	第二次行財政改革大綱実施計画の一つの取組である事業総点検を実施した。事業総点検は平成23年度から25年度にかけてすべての施策事業を点検するものであり、外部委員(行政改革推進委員5名)による外部点検と、情報戦略局による内部点検からなる。外部点検については計4回開催し、10事業を点検した。 (委員報酬) 120,000円	頁 113

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>地域自治推進事業</u>	13,936	「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、各小学校区に「地区担当職員」を配置し、地域自らのまちづくりを支援するとともに、その取り組みに対する地域住民の理解促進と気運の醸成を図った。また、地域リーダー養成のための研修会や市民の自治意識啓発のための講演会を開催した。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 37,142,000円 ・新たなまちづくり講演会 ・まちづくり人材養成講座 ・地域啓発及び地域自治組織設立運営サポート (新たな設立地区 10地区) 【過去2カ年度の実績】 平成21年度 5,500,477円 (設立地区 2地区) 平成22年度 11,335,126円 (設立地区 3地区) 【事業を取りまく状況等】 当初予定設立10地区を見込んだが、準備会5地区の設立にとどまった。地域での理解浸透に苦慮しており、制度開始を平成25年度から平成27年度とし2年間延長した。	頁 113

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 4,475 千円
 決算額 4,204 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			115	4,089

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	4,204	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を 図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力 を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数15回 受講者数 785名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修数52回 受講者数 1,201名 ③派遣研修 研修数57回 受講者数 127名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 71.0% 一般研修 69.3% 派遣研修 93.3% ②意識向上度 研修全体 60.1% 一般研修 57.8% 派遣研修 90.0%	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 62,770 千円
 決算額 60,508 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,500		3,235	39,773

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行事業	18,703	<p>「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政の方針や事業計画・各種制度の概要、市の行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いせ」1日号 平均31.3ページ ・「広報いせ」15日号 平均8.2ページ ・印刷部数:52,900部(平成23年5月1日号) <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 24,116,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いせ」1日号 平均32ページ ・「広報いせ」15日号 平均8ページ ・印刷部数:52,800部 <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 19,621,164円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いせ」1日号 平均25.3ページ ・「おしらせ版」15日号 平均3.8ページ ・印刷部数:52,500部 (平成22年5月1日号) <p>平成21年度 14,681,425円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報いせ」1日号 平均22.3ページ ・「おしらせ版」15日号 平均3.8ページ ・印刷部数:52,400部 (平成21年5月1日号) <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の一元化と経費削減を目的に、広報紙と同時配布するチラシの削減を進めており、その記事を広報紙に掲載するためページ数が増えている。 ・世帯数の増に伴い、印刷部数も年々増えている。 ・市民に親しまれ、読みやすい広報紙を目指し、特集記事の取材・編集を請負業務に含めるとともに、写真を多く使うなど「顔の見える広報」を目指している。 	115
2. CATV広報いせ 放送事業	18,274	<p>地域に根ざした行政情報番組を制作し放送した。</p> <p>4月までは、「伊勢市テレビ広報 みて・きいて・伊勢」として、特集とお知らせ等の各コーナーを放送していたが、5月からは、特集番組とお知らせ番組に分け、放送時間や回数の見直しも行った。</p> <p>特集番組については、地元を中心に活動しているタレントをリポーターとして起用し、分かりやすく親しみをもって見られる番組づくりを行った。</p> <p>お知らせ番組は、番組名を「伊勢市テレビ広報『絆』」とし、行政情報だけでなく、市民活動・ボランティアに関する情報や、市民が参加した行事やできごとの紹介のほか、市民の疑問や意見に職員が答える新コーナーを開始し、市民と行政が、つながり(絆)を感じられる番組にした。</p>	115

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. ケーブルテレビ加入促進事業補助金	2,578	ケーブルテレビの加入促進を目的に、新たにケーブルテレビに加入する市民等に、ケーブルテレビ加入促進補助金を交付した。 デジタル放送への完全移行に伴い、10月31日までに契約し、12月31日までに完了した工事をもって、補助金の交付を終了した。 交付金額 宅内工事費 2,578,000円 ・個人 5,000円×512件 ・自治会等 9,000円×2件	115
4. インターネット情報発信事業	17,981	平成17年11月の市町村合併時に構築された市ホームページを、利用者にとって、魅力があり、誰もが利用しやすいホームページに構築するとともに、管理面においても職員が容易に情報の更新や管理ができるホームページ管理システムへ更新作業を行い、平成24年3月末に新ホームページを公開した。	115
5. 各種相談事業	2,525	市民からの多様な相談に対応するため、法律・行政・交通事故・登記などの市民相談を実施した。 法律相談については、毎週月曜日に実施し、利用者は353人(1回平均6.9人)であった。	115
6. 市民意向調査事業	418	市の政策・課題に関するアンケート調査を実施し、市の政策を検討するうえでの基礎資料を作成した。 対象・市内に居住する18歳以上の市民 3,000人 ・市内企業在勤者 ・三重大学及び皇學館大学生及び教職員	115

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 635,294 千円
決算額 622,585 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,364	693		13,895	582,633

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム管理経費	496,744	住民基本台帳、税、及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの賃貸借、保守管理、及び各業務に係る計算処理や帳票出力処理等の業務を委託し、事務の迅速化と効率化を図った。 また、保守サポートの終了に伴い機器類を更新し、住民情報系ネットワークの安定稼働を図るとともに、昨年度、導入業者が決定された新住民情報システムの更新業務を推進し、平成24年1月4日から稼働させた。 ○住民情報系ネットワークシステム機器更新 12,421,500円 ○住民情報システム更新業務委託 200,284,665円 ○住民情報システム等データ抽出業務委託 39,955,440円	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 行政情報システム 管理経費	110,132	<p>文書総合管理・財務会計・出退勤・人事給与・グループウェア等の行政情報系システムやインターネット系システムならびにネットワークシステムの賃貸借及び保守管理を行い、各システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、インターネット系システムおよび行政情報系ネットワークシステムについては、平成17年11月の市町村合併時に、旧市町村の各構成をほぼそのまま残し、それらを接続するような形で構成されており、平成24年度に保守サポート期限を迎える。これらの更新にあたり、情報提供依頼(RFI)や(財)三重県市町村振興協会の外部専門家支援事業を活用し、最新のネットワーク技術を利用する中で、通信回線の構成見直し、機器の規模適正化等を行い、安定性と経済性を考慮した全庁的なネットワーク環境を構築することを目的とし、概要設計書の作成業務を委託した。概要設計書を基に、再構築仕様書を作成し、プロポーザル審査により再構築事業者を決定した。</p>	117

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 17,164 千円
 決算額 15,198 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,900			6,298

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 情報調査一般経費	721	全庁的な行財政情報の効率的な収集方法として行財政情報サービスを利用した。	117
2. 公共施設情報整理 事業	8,925	市が保有する公共施設(建築物)の更新、改修、維持管理運営のあり方を検討するための基礎資料として、施設の現状把握と分析を、人件費や維持管理、修繕などのコスト面と、建物や利用・運営状況などのストック情報の両面から行い、公共施設(建築物)の課題・問題点をわかりやすく解説した白書の原稿を作成した。	117

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 総合計画推進事業	813	<p>平成20年～24年を計画期間とする「みんなのまちの計画（伊勢市総合計画）」の実現を目指し、必要となる取り組みの検討・実践、及び実現状況の確認を行った。</p> <p>(1) 伊勢市まちづくり市民会議の運営（分科会・運営委員会の開催）</p> <p>①自治と行政のしくみ 開催14回：延べ参加者114人 ②人権・教育・文化 開催11回：延べ参加者 76人 ③環境 開催12回：延べ参加者166人 ④生活・健康・福祉 開催12回：延べ参加者117人 ⑤防災・防犯 開催12回：延べ参加者 86人 ⑥産業 開催11回：延べ参加者 76人 運営委員会 開催11回</p> <p>(2) 市民アンケート 計画に定める指標の現状の値を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を行った。 期 間：平成23年8月9日～平成23年8月31日 対象者：市内在住の15歳以上の方から無作為抽出4,000名（1,000名×4種類） 調査票： 「生活・健康・福祉」、「防災・防犯＋交流都市基盤」 「人権・教育・文化＋環境」、「自治と行政のしくみ＋産業」 回答率：41.6%（回収数 1,663通）</p>	117
2. 首都圏情報発信事業	2,983	<p>企業誘致・観光誘客等の推進及び医師の確保等を目的とし、首都圏における情報発信・収集機能を強化するため、首都圏において特命員を配置している。特命員の活動により形成される、首都圏の企業、団体、個人等による人的ネットワークを活用し、企業訪問・観光誘客宣伝・医師確保に伴う情報収集等を行なった。</p> <p>○活動日数：217日（面談数：621回） ○職員に同行した企業訪問：25社（30回） ○特命員の紹介による『ふるさと納税』：申込9件 ○「伊勢神宮奉納花火大会シンポジウム」（主催：観光企画課）、「伊勢市企業立地セミナー～産業人交流会 in 東京～」(主催：産業支援課)の開催に向けた、参加者との連絡調整等を行なった。 ○市立伊勢総合病院の医師確保において、紹介者との連絡調整等を行ない、嘱託透析医1名（平成24年4月1日から1年間）の配置に繋がった。</p>	117

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 宮川流域連携事業 負担金	700	「宮川と共に生きる会(平成9年1月28日設立：1市9町4村 ※当時)」を発展的に解消して設立した、宮川流域ルネッサンス協議会(平成12年6月9日設立：1市6町、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会)に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動を実施した。 ・宮川流域子ども川サミットの開催 ・宮川親子デイキャンプの開催 ・守ろう清流！宮川流域いっせいチェックの実施 ・流域案内人等への活動支援及び資質向上への支援 ・宮川フォーラム2012の開催	117

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 市史編さん事業推進費

(単位 千円)

予算現額 39,971 千円
決算額 24,864 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			62	24,802

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市史編さん事業	24,864	・第5巻「現代編」を刊行した。 ・「三重県伊勢市 朝熊町有文書調査報告書」(三重県との共同事業)を刊行した。	119

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 11. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,333 千円
 決算額 1,297 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	226			1,071

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>男女共同参画推進 都市事業</u>	1,057	<p>「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を行った。なお、企画運営を公募市民12人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し、協働で行った。</p> <p>主な取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) パートナーの日啓発講演会 (2) 三重県内男女共同参画連携映画祭 (3) だれでもできる介助講座 (4) 男性も作れるヘルシー料理教室 (5) 縁結び応援事業 (6) イクメン講座 <p>【当初予算における内容、計画】 男女共同参画を考えるための講演会(パートナーの日啓発事業等)、セミナー等の開催、男の料理教室等の事業を「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し、取組を進める。今年度は三重県内の各市町と連携して実施する映画祭の開催、人口減、少子高齢化の観点から若者の出会いの場を考える事業も委託する。</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 実施事業(委託費800千円) パートナーの日啓発講演会、三重県内連携映画祭、男の料理教室(2回)、ファミリー料理教室、縁育講座 平成21年度 実施事業(委託費800千円) パートナーの日啓発講演会、三重県内連携映画祭、男の料理教室(2回)、パパと一緒にクッキング、心と体のリフレッシュ講座、タッピングタッチ教室</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画意識の高揚には、行政と市民との協働が重要であり、市民参画の取組みが求められている。 ・イベントへの参加が少ない男性や若い世代へのアプローチとして、男性向けの講座や独身男女を対象とした縁結び応援事業、子育て世代向けのイクメン講座を開催した。 	119

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 154,759 千円
 決算額 144,445 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,156	143,289

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	671	電算室改修工事 機器の新規設置に伴い、電算室の間仕切りを撤去し新たに仕切りなおした。	123
2. 市有財産管理一般経費	8,098	(1) 神路園裏法面測量業務委託 市有地の土砂災害を未然に防ぐため、別途調査業務に必要な測量業務を委託した。 (2) 神路園裏法面調査業務委託 市有地の土砂災害を未然に防ぐため、調査により危険性を判定した。	123

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	945	二見総合支所雨水排水設備工事 悪天候時に雨水排水路から雨水が逆流し、庁舎地下が年に数回浸水するため、設置済ポンプの改善工事を行った。	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 89,255 千円
 決算額 88,020 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			23,960	64,060

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	17,173	平成16年4月に公設公営でいせ市民活動センターを稼働し、同年7月には、指定管理制度を導入して公設民営で稼働。平成21年度から第3期目(3ヵ年)の指定管理者を特定非営利活動法人いせコンビネットに選定し管理運営等を行った。 平成23年度指定管理料 15,429,000円	123
2. コミュニティ助成事業補助金	23,900	(財) 自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会に補助金を交付した。 交付決定団体は6自治会	123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 元気なまちづくり 協働事業補助金	8,456	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 交付決定団体は139自治会	123
4. 活性化活動事業補助金	864	市内で活動を行う地域グループや活動団体に対して、元気で活気溢れる地域づくりの支援をするため実施。 平成16年度に旧小俣町で補助制度の運用を開始。 申請団体数13団体、交付団体数8団体	125
5. 伊勢のまつり開催 事業	6,561	平成23年度は総勢66団体の代表者等からなる実行委員会で、「自分たちの祭りを自分達で考え、開催していく」をコンセプトとして企画、運営を行った。 また、高柳商店街での「食の祭典いただきフェス」や、伊勢市駅前広場での「伊勢っ子ものしり王選手権」が伊勢まつりに併せて開催された。 さらに、10月15日には、初穂曳（外宮領）と神嘗奉祝祭が同時開催され、前年にないまつりの魅力が創出された。 しかし、15日は雨天により参加を取りやめる団体もあった。 ○開催日 平成23年10月15日（土）、16日（日） ○会場 高柳商店街周辺～伊勢市駅周辺 ○参加団体数 191団体（5,686人） ○観客数 約13万人	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 144,122 千円
決算額 143,258 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				143,258

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地区連絡員事業	101,996	行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員（176人）を配置し、行政情報等の伝達を行った。 (1)市の広報紙等の配付(各月2回) (2)その他市長が特に必要と認める職務	125
2. 区長謝礼事業	7,290	市内173自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	125
3. 振興助成金事業	27,261	地域における自治活動を支援・推進するため市内173自治会に助成金を交付した。	125

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 総連合自治会運営補助金	1,430	伊勢市総連合自治会に加盟する163自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	125

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	657	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、補助を行った。(補助率3/10) ・拡声放送施設設備費補助金 1件 194千円 ・集会所修繕費補助金 1件 463千円	125

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 自治区振興事業	4,624	自治会が地域社会の活性化をめざし自主的に取り組む活動を支援するため、集会所施設の維持補修・修繕、備品購入、電気使用料に対して補助を行った。 ・維持補修・修繕 4件 1,618千円 ・維持補修【下水道】 1件 1,257千円 ・備品購入 9件 889千円 ・電気使用料(1/2補助) 25件 860千円	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 22. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 1,466 千円
決算額 1,422 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			78	1,344

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	733	○外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」日本語版、中国語版、ポルガル語版、英語版や、「防災ガイド」中国語版、ポルトガル語版、英語版、タガログ語版、スペイン語版の作成、配布を行った。 ○伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供、講演会・交流会の開催及びボランティア活動の推進に努めた。また他団体とも協力し、国際交流のまちづくりを推進した。 ○三重県市町多文化共生ワーキングに参加し、県内各市町の多文化共生に関する施策について意見交換を行った。	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 24. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 40,126 千円
 決算額 38,957 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,447				37,510

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防犯啓発事業	4,233	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を精力的に開催して、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。平成23年度の講習会開催状況は、次のとおりである。 平成23年度 19回 935名参加</p> <p>○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止のため、伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員と街頭啓発に努めた。平成23年度の実施状況は、次のとおりである。 平成23年度 19回</p> <p>○地域安全展の開催 伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、伊勢度会地区生活安全協会と共催で、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 日時 ・平成23年10月16日(日) 内容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・似顔絵 ・防犯機器等の展示 ・その他啓発用品の配布</p>	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>防犯灯設置等補助金</u>	24,931	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。</p> <p>補助金額 24,931,022円 (16,161灯)</p> <p>整備3,098,710円(126灯) 修繕7,118,340円(4,143灯) 電気14,047,590円(11,856灯) 小俣まちづくり協議会LED化推進事業 666,382円(36灯)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 25,629,000円 (15,822灯)</p> <p>整備4,364,000円(167灯) 修繕5,280,000円(3,520灯) 電気15,245,000円(12,098灯) 小俣まちづくり協議会LED化推進事業 740,000円(37灯)</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 22,869,240円 (15,764灯)</p> <p>整備3,085,080円(136灯) 修繕6,244,160円(3,920灯) 電気13,540,000円(11,708灯)</p> <p>平成21年度 26,159,415円 (15,214灯)</p> <p>整備3,420,190円(137灯) 修繕6,316,290円(3,593灯) 電気16,422,935円(11,484灯)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・自治会の整備等に対し補助を行う制度であり、補助金申請の有無、防犯灯の消耗状態、電気料金の価格変動により、交付決定額を決定するため、予算と差異が生じる。 ・平成24年度からは、概ね10年間で、省電力でCO2排出量の削減、長寿命のLED防犯灯への移行を進める。</p>	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 25. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 115,874 千円
決算額 104,449 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,953			96,496

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐輪場管理事業	2,046	<p>公共の駅前駐輪場の自転車等の長期放置を防止するため、機能喪失長期放置自転車等の整理撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。</p> <p>平成23年度は、市内駐輪場等で687台の機能喪失長期放置自転車を撤去した。</p>	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>コミュニティバス 運行事業</u>	79,757	<p>コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民の生活の利便向上を図った。</p> <p>また、平成23年8月1日から、デマンド型サービス（予約制）を導入し、運行を行った。</p> <p>コミュニティバス運行事業 79,756,509円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行業務 73,628,706円 ・デマンド型サービス運行業務 4,854,978円 ・運行に伴う施設整備費等 1,139,985円 ・その他の経費 132,840円 <p>※利用者数 74,964人 (バス：72,094人、デマンド：2,870人)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 91,119,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行業務 77,483,000円 ・デマンド型サービス運行業務 9,677,000円 ・運行に伴う施設整備費等 3,867,000円 ・その他の経費 92,000円 <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 コミュニティバス運行事業 92,903,030円 ※利用者数：77,004人 平成21年度 コミュニティバス運行事業 95,056,346円 ※利用者数：68,932人</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国からの補助金が、事業者へ直接交付される制度に変更となったことと、デマンド型サービスの運行が、見込みの回数より実績の運行回数が少なかったため、当初予算に比し決算額が減額となった。 ・高齢化率の増加等により、移動手段をもたない、いわゆる「交通弱者」が今後も増える傾向にあることから、コミュニティバス運行の必要性は高いが、継続していくには、利用者の増加を図りつつ、運行ルートの見直しなどの効率化についても併せて検証していく必要がある。 	127
3. 路線バス運行維持 事業	12,283	<p>廃止路線代替バス、不採算路線バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。</p> <p>廃止路線代替バス（玉城線） 6,586,650円</p> <p>地方バス路線維持費負担（沼木線） 5,696,000円</p>	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 伊勢地域観光交通 対策推進事業	5,000	<p>平成17年8月に発足した「伊勢地域観光交通対策協議会」で、伊勢地域周辺における交通施策を実施した。</p> <p>1. ゴールデンウィーク交通対策 ○駐車場開設・交通誘導等 外宮・内宮・二見周辺の来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 (平成23年 4月29日～5月8日) ○パーク&バスライド サンアリーナ臨時駐車場を拠点に内宮にシャトルバスを運行させ、交通渋滞の解消・緩和を図った。 (平成23年 4月30日～5月4日)</p> <p>2. 初参り交通対策 ○駐車場運営・交通誘導等 外宮・内宮・二見周辺の来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 (平成23年12月31日～平成24年1月9日及び以降の1月中の土日) ○パーク&バスライド サンアリーナ臨時駐車場等を拠点に外宮、内宮にシャトルバスを運行させ、交通渋滞の解消・緩和を図った。 (平成23年12月31日～平成24年1月4日、7日・8日)</p> <p>3. その他 土日祝日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3連休等の混雑期には、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の開設を行った。</p>	127

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 27. エネルギー対策費

(単位 千円)

予算現額 6,211 千円
決算額 6,210 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				6,210

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 省エネルギー対策 事業	6,210	<p>東日本大震災や浜岡原子力発電所の停止を受け、電力需要の逼迫が予想されたことから庁内に「エネルギー対策本部」を設置し、市役所の取り組みとして、本庁舎、御菌総合支所庁舎、二見総合支所庁舎に遮熱フィルム貼付工事を行った。 また、小中学校には電力デマンド監視装置を設置した。</p>	127

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 355,597 千円
 決算額 354,114 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	198,118		6,221	149,775

収 税 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 口座振替事務費	2,053	納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、口座振替納付を行なっている。 ・口座振替での収納税額 5,861,784,523円 ・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,763,565円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 90,720円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 198,940円	129

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 99,893 千円
 決算額 96,821 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			555	96,266

課 税 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	38,679	適正・公平な課税を行うため、以下の業務を行い、その経費を支出した。 ○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 23,100千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込み ○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,012千円 平成21年評価替え用に決定した鑑定評価額を、地価下落等に伴う変動を反映させ現状に則した価格とするための時点修正 ○家屋評価計算業務委託 5,466千円 家屋評価計算及び評価情報等データの総合行政情報システムへの連携	129

収 税 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	5,312	納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。 ・コンビニエンスストアでの収納税額 664,075,438円 ・支出経費 収納代行手数料 3,515,567円 電話回線使用料 82,999円 システム保守委託料 1,713,600円	129
2. 徴収管理一般経費	34,016	高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、徴収率の向上を図った。 ・移管実績 移管件数 60件 移管総額 (H23年度移管事業分) 106,887,047円 ・収納額実績 54,901,658円 内訳 (H22年度移管事案に係る収納額) 16,052,433円 (H23年度移管事案に係る収納額) 38,849,225円 ・負担金 均等割額 100,000円 処理件数割額 8,400,000円 徴収実績割額 4,815,000円 計 13,315,000円	129

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 30,987 千円
決算額 30,873 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				30,873

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	103	公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、随時監査として工事監査を3件実施した。監査の執行にあたっては、専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。 設計金額10億円未満の工事 監査実施工事名 準用河川大堀川支川河川改修工事 中央勢田川分区污水管渠面整備工事に伴う配水本管布設替工事 桧尻川左岸第2分区污水幹線築造(その1)工事	135

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,314,851 千円
 決算額 1,286,945 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
57,656	347,380		54,223	827,686

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>福祉ボランティア 育成事業負担金</u>	8,381	<p>ボランティア活動事業を推進するため、伊勢市社会福祉協議会が実施するボランティアコーディネーターの配置等福祉ボランティア育成事業に対し支援し、地域住民の福祉ニーズに応じたボランティア団体活動への支援、育成の拡充を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,687千円 ・ボランティアコーディネーター 1名 ・ボランティア団体活動助成 24団体 ・福祉協力校助成 小中高等学校計42校 ・ボランティア活動保険助成 2,800人 ・ボランティア講座・研修会、福祉体験等</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成21年度 9,357,892円 ・ボランティア団体活動助成 24団体 ・福祉協力校助成 小中高等学校計39校 ・ボランティア活動保険助成 2,553人 ・ボランティア講座・研修会、福祉体験等 平成22年度 8,828,992円 ・ボランティア団体活動助成 22団体 ・福祉協力校助成 小中高等学校計39校 ・ボランティア活動保険助成 2,667人 ・ボランティア講座・研修会、福祉体験等</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・ボランティアコーディネーターの人事異動に伴い人件費が減となった。 ・ボランティア団体活動助成 23団体 ・福祉協力校助成 小中高等学校計36校</p>	135
2. 民生委員協議会補助金	11,464	<p>各地区民生委員・児童委員の研修活動及び地域住民における要保護者や老人・母子家庭・身体障がい者などの生活実態を把握するとともに、適切な相談・助言・指導などの福祉活動を行った。</p>	135
3. ハートプラザみその等管理事業	38,477	<p>23年度から指定管理者制度を導入し、利用者へのサービスの向上と適正な維持管理に努めた。また、多目的ホールの空調設備について、老朽化に伴い不具合が生じたため、23年度及び24年度で改修を行い、利用者の安全と快適な利用の確保に努めた。</p>	135

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 社会福祉協議会運営事業負担金	99,858	伊勢市社会福祉協議会を通じて、市民の多様な福祉ニーズに対応したサービスを提供し、地域福祉の推進に努めた。	137
5. 民生委員児童委員のあり方検討委員会運営経費	255	民生委員・児童委員のなり手不足の原因や課題・問題点を洗い出し、充足率の向上のための方策を検討した。	137
6. 婦人保護施設整備補助金	28,557	婦人保護施設の施設整備に対し、補助を行った。 【補助対象事業費】 228,459,709円 うち国庫補助金 114,229千円 県補助金 57,115千円 市補助金 28,557千円	137

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	5,608	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	135

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター等管理事業	1,041	地域の老人をはじめとする住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設で、小俣町商工会、度会教育会館とで合同会館の施設維持管理にあたった。	135
2. 保健福祉会館管理事業	13,624	小俣管内を6地区に分け各々に保健福祉会館を設置し、地域の老人をはじめとする住民の健康増進・教養の向上及びレクリエーション等の場とした。	135

御菌総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. なごみのやかた管理事業	131	高齢者の福祉活動、健康増進、文化・教養の高揚など介護予防を図る施設として、管理運営を行った。 (年間利用者延人数 3,372人)	137

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 1,621,416 千円
 決算額 1,557,111 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
689,137	358,895		4,810	504,269

障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者地域生活支援事業	77,410	<p>障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、地域生活支援事業を実施した。</p> <p>1. 障害者地域生活相談支援事業 障害者相談支援センターの運営を社会福祉法人へ委託し、訪問、来所、電話等により相談を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケースマネジメント等を行った。 委託先 社会福祉法人三重済美学院</p> <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者（児）等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 2,308件</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業 (1) 手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。 窓口対応件数 200件 (2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 聴覚障がい等がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等がある人の社会参加の向上を図った。 手話通訳者派遣件数 100件 要約筆記者派遣件数 33件 (3) 手話奉仕員養成事業 聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座入門課程を、また、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図るため、手話奉仕員ステップアップ講座を開催した。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの） ・手話奉仕員養成講座入門課程（1月～3月、全23講座） 受講人数 27名 ・手話奉仕員ステップアップ講座（全12回） 受講人数 29名 (4) 点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がいのある人の情報保障の充実を図った。</p>	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 障害者外出支援事業	6,843	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がいのある人に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 9,080枚</p> <p>2. 重度身体障害者リフトタクシー助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 1,283枚</p>	139
3. 障害者生活環境等整備事業	289	<p>1. 心身障害者訪問理美容サービス事業 理・美容院に向くことが困難な身体に障がいのある人に対し、居宅でサービスが受けられるよう出張料相当分を助成した。 支給人数 2人</p> <p>2. 重度心身障害者紙おむつ等支給事業 重度心身障がいのある人に対し、紙おむつ等の購入に要する経費の一部について、紙おむつ等利用券を支給した。 支給人数 9人</p>	139
4. 障害者福祉運営対策経費	85,048	<p>1. 身体障害者福祉センター運営事業 社会適応訓練（パソコン教室等）等を行う身体障害者デイサービス事業を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 年間利用人数 1,148人（身体障害者デイサービス事業）</p> <p>2. 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業 創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 11.5人</p> <p>3. 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に就労の機会を提供するとともに、生産活動の機会の提供、その他の知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そみん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 ひまわり 11.5人、 工房そみん 10.2人、小俣さくら園 13.0人、 御菌しらぎく園 6.0人</p> <p>4. 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 10団体</p>	139
5. 障害者啓発事業	211	<p>12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。</p>	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 障害者手当等給付 事業	60,286	在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。	139
7. 障害者自立支援対 策臨時特例交付金 特別対策事業	27,030	1. 通所サービス利用促進事業 通所施設及び短期入所施設が行う利用者の送迎サービスに要する費用を助成した。 2. 新事業移行促進事業 新体系施設への移行に伴うコスト増加等に対応できるよう、移行した新体系施設に一定の助成を行い、旧体系施設から新体系施設への移行を促進した。	139
8. <u>障がい者にやさし いまちづくり事業</u>	7,408	1. 障がい者外出支援対策アドバイザー業務 障がいのある人が安心して外出できるまちづくりを推進するため、社会環境の調査を行うとともに課題、改善策等の検討を業務委託により実施した。 2. オストメイト対応トイレ設備整備事業 オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）の方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設にオストメイト対応トイレ設備を整備した。 ・整備施設 5施設 3. ピクトサイン設置事業 公共施設にある多目的トイレ等にイラストで分かりやすく表現されたピクトサインを設置し、利用者の利便性の向上を図った。 ・整備施設 6施設 21箇所 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,824,000円 ・障がい者外出支援対策アドバイザー業務委託 ・オストメイト対応トイレ設備整備工事費 整備施設 5施設 ・ピクトサイン設置等整備工事費 整備施設 6施設 13箇所 【過去2カ年度の実績】 平成23年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・ピクトサイン設置は、当初は多目的トイレ前だけに設置予定であったが、入口付近からトイレが確認できるように設置箇所を増加した。 ・伊勢市やさしさプランの障がい者サポートプロジェクトとして平成25年度までの3年間でオストメイトの方の社会参加を促進するため、市所管の公共施設へオストメイト対応トイレ設備の整備を計画している。	139
9. 障害者グループ ホーム等緊急整備 事業	15,000	障害者自立支援法における基盤整備事業として、グループホームやケアホームの整備を促進するため、グループホームやケアホームの設置を緊急に実施する事業者に対して、施設整備補助金を交付した。	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 障害者小規模作業 所対策事業	5,945	小規模作業所を運営する団体に対して補助金を交付し在宅の障がいのある人の社会的自立と社会参加の促進を図った。 また、市外の小規模作業所への通所者の経費については、設置する玉城町へ入所負担金を支出した。	139
11. 障害者介護給付等 事業	1,222,221	障害福祉サービスの利用について、介護給付費及び訓練等給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	139

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 728,719 千円
決算額 712,363 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	278,203			434,160

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給 事業	247,027	身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 237,090千円 (1) 延件数 50,607件 2 証明書料の助成 9,937千円 (うち郵送料 605千円) (1) 延件数 46,660件	139
2. 65歳以上障害者 医療費支給事業	166,981	後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級から4級または療育手帳A1からB1の市民で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 166,981千円 (1) 延件数 62,318件	139
3. 乳幼児医療費支給 事業	175,635	義務教育就学前までの乳幼児で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 また、小学生の入院医療費を助成した。 1 医療費の助成 157,521千円 (1) 延件数 93,057件 2 証明書料の助成 18,114千円 (1) 延件数 90,570件	141
4. 一人親家庭等医療 費支給事業	79,199	母(父)子家庭の親及び子、または父母のいない子で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 73,237千円 (1) 延件数 30,673件 2 証明書料の助成 5,962千円 (1) 延件数 29,811件	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 寡婦医療費支給事業	64	配偶者と死別し、かつて20歳未満の方を扶養していた、現在婚姻状態にない60歳以上70歳未満の女性で、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費の助成 62千円 (1) 延件数 9件 2 証明書料の助成 2千円 (1) 延件数 9件	141

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 43,731 千円
決算額 43,503 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			16,211	27,292

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	17,234	障がいをもつ児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。 発達療育 延べ 781人、感覚運動遊び 延べ1,236人 小学部 延べ 575人、作業療法 延べ 210人 言語訓練 延べ 458人、音楽療法 延べ 298人 相談 延べ 193人、機能回復訓練 延べ 22人	141
2. おおぞら児童園管理事業	2,982	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	141

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,359,907 千円
決算額 3,339,765 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,992	207,794		83,384	3,043,595

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設建設等補助金	45,021	介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設の面的整備費と整備後円滑に施設開設ができるよう開設準備に係る必要経費に対して補助を行うとともに、利用者の安心・安全を確保するため、地域密着型サービス施設が行う防災改修に係る経費に対して補助を行った。また、定期巡回・随時対応型訪問看護介護のサービス提供のあり方を検証するため24時間対応の定期巡回・随時対応サービスモデル事業を委託した。 ○面的整備 補助件数 1件 ○施設開設準備経費 補助件数 1件 ○防災改修 補助件数 6件 (飛散防止フィルム貼付工事) ○モデル事業委託 委託件数 1件	143

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援 通所事業	5,100	<p>在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」と認定された者、又は自立とみなされる閉じこもりがちで虚弱な方々を対象に、デイサービスセンターへの通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。</p> <p>扶助費（通所費）5,100,080円 （年度末時点の実人員62人）</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,349,000円（実人員89人見込）</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度 6,316,640円（実人員80人） 平成21年度 7,737,600円（実人員96人）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 新規申請者以上に、介護認定を受け、介護保険に移行する利用者が増えているため、実人員が減少している。地域包括支援センターとの協力を図り、効果的な周知活動を行い、利用者数の増加に努めたい。</p>	143
2. 外出支援サービス 事業	13,214	<p>65歳以上のねたきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。</p>	143
3. 軽度生活援助事業	809	<p>老衰・心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での生活の継続を図った。</p>	143
4. 緊急通報体制等整備 事業	6,642	<p>虚弱なひとり暮らし高齢者や重度身体障害者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。</p>	143
5. 老人乗合バス運賃 助成事業	20,802	<p>75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担の軽減を図った。</p> <p>交付者数 9,758人 （内訳） 100円券 8,992人 乗りきり券 766人</p>	143
6. 老人福祉センター 運営事業	1,662	<p>高齢者を対象にした高齢者教室を実施し、利用者の社会参加及び文化活動の促進を図った。また、老人クラブや高齢者サークルへ活動の場を提供し、高齢者の交流、情報収集の拠点となった。平成18年9月より指定管理者による運営となっている。</p>	143

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 老人クラブ補助金	11,605	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	143
8. 敬老祝品贈呈事業	1,159	市内に在住する年度末時点で満88歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。(最高齢者への贈呈は生涯に1回) 88歳 5,000円相当 578人	143
9. 救急医療情報キット配備事業	665	独居高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。 平成23年度中に75歳以上の独居高齢者等に配備した。	143
10. 老人ホーム入所措置事業	245,847	おおむね65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。 延べ措置人員 養護老人ホーム 1,654人	143

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営事業	3,102	地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会において計画する事業の実施、及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。	145

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 512,917 千円
決算額 492,190 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,801	152,434	25,800	10,181	293,974

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減するために、社会福祉法人一字郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	145
2. 子育て支援ショートステイ事業	397	出産、病気等の緊急一時的な理由があるとき、児童養護施設で児童を保護し、経済的理由等で一時的に保護が必要となった母子を母子生活支援施設で保護するため、3施設に事業を委託した。 延べ利用人数 17人 延べ利用日数 64日	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 病児・病後児保育事業	15,667	児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 利用児童数 502人 延べ利用日数 1,141日	147
4. ファミリーサポートセンター事業	8,230	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 376人 活動件数 1,634件	147
5. 放課後児童対策事業	126,038	昼間、保護者のいない家庭の児童（主に小学校低学年児）を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 21箇所	147
6. 一般保育事業補助金	43,950	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所に対し補助した。 民間保育所 14箇所	147
7. 低年齢児保育推進事業補助金	7,767	0・1歳児にゆとりのある保育を実施することにより、児童の心身の発育発達を一層促すため、延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、0・1歳児が定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上入所している保育所で、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 7箇所	147
8. 延長保育促進事業補助金	53,061	通常の保育時間を超えて長時間保育（9時間以上）を実施している保育所に対して、職員の加配及び処遇改善を図るために要する経費を補助した。 民間保育所 15箇所 うち国庫補助対象（11時間以上）6箇所	147
9. 地域活動事業補助金	3,935	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所 16箇所	147
10. 障害児保育事業補助金	11,876	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている保育所で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所 8箇所 対象児童（中度）9人 （重度）4人	147
11. 休日保育事業補助金	1,331	日曜・祝日等に保育を行う民間保育所に対して、その事業経費を補助した。 民間保育所 1箇所	147

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 民間保育所AED 設置事業補助金	580	民間保育所において、AEDを購入し、地域住民へAED設置を周知するとともに、保護者及び地域住民を対象とした講習会を開催する事業に対して補助した。 民間保育所 2箇所	147
13. 子ども家庭支援 ネットワーク事業	316	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な支援のため、関係機関との連携を図り児童虐待の防止に努めた。	147
14. <u>子ども家庭相談セ ンター事業</u>	10,404	保健師及び社会福祉士、家庭児童相談員、女性相談員、臨床心理士（非常勤）を配置して、家庭における児童養育に関する相談（虐待を含む）及び女性に関する相談（DVを含む）を受け付け、助言指導を行った。 児童相談件数：76件 女性相談件数：78件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,278千円 主な経費内訳 家庭児童相談員：2人 4,542千円 女性相談員：1人 2,208千円 臨床心理士：1人 1,898千円 【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度新規事業のため、数値は相談事業統合前のものである。 平成22年度 児童相談件数：66件 女性相談件数：75件 平成21年度 児童相談件数：67件 女性相談件数：84件 【事業を取りまく状況等】 児童虐待等の早期発見・早期対応及び女性に対する暴力などにかかる相談体制の充実が求められている。	147
15. 子ども家庭相談セ ンター準備経費	3,144	子ども課内に子ども家庭相談センターを新設するため、市役所東庁舎内の間仕切改修工事を行い、備品などを設置して、相談体制の充実を図った。	147
16. 民間認定こども園 施設整備事業費補 助金	89,899	民間認定こども園開設のための施設整備費を補助した。 幼保連携型認定こども園 1箇所	149
17. 就学前の子どもの 教育・保育推進事 業	101	国の就学前の子どもの教育・保育の一元化という大きな政策の転換を受け、これまで市が策定してきた「就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」及び「就学前の子どもの教育・保育に関する施設の整備計画」の抜本的な見直しを行うため、検討委員会及び講演会を開催した。	149

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,380,458 千円
 決算額 3,379,055 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,092,949	424,705		273,139	588,262

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置事業	2,082	児童の福祉に欠ける世帯の母子を支援施設に入所措置することで、家庭生活の安定保護を図るとともに、自立への支援を行った。 利用件数 3件	149
2. 民間保育所児童保育事業	1,097,708	民間保育所運営費を支弁した。 (国庫負担金基準による) 民間保育所 16箇所 延べ児童数 15,966人	149
3. 子ども手当支給事業	2,279,265	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し、手当を支給した。 受給者数 9,484人 対象児童延べ人数 183,438人 (H24.3末現在)	149

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 595,994 千円
 決算額 591,016 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
203,141			8,281	379,594

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高等技能訓練促進費等事業	22,544	ひとり親家庭の自立の促進を図るために、看護師等の資格養成機関で修業する一人親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るための補助金を支給した。 高等技能訓練促進費 18人 入学支援修了一時金 3人	149
2. 児童扶養手当支給事業	557,299	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者数 1,364人	149
3. 母子生活支援施設整備補助金	8,281	DV被害及び児童虐待から母子の安全を確保し、保護する施設の充実を図るため、改修に伴う工事に対する施設整備費の一部を補助した。 社会福祉法人 1箇所	149

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,642,475 千円
 決算額 1,582,945 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
34,486	2,396	48,100	303,593	1,194,370

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 臨時保育士等経費	398,165	市立保育所に嘱託保育士等を配置した。 ・嘱託保育士 107人 ・嘱託看護師 13人 ・嘱託調理員 15人 ・嘱託業務員 13人 ・臨時保育士 46人 ・臨時調理員 6人 ・文書集配職員 1人	149
2. 入所児童処遇経費	134,237	公立保育所の入所児童の健全な育成と円滑な保育所運営を図った。 市立保育所 13箇所・延べ 15,781人	151
3. 低年齢児保育推進事業	4,490	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上0・1歳児が入所している保育所において0・1歳児に対して国の基準を超えて保育士を配置した。 市立保育所 2箇所	151
4. 保育所地域活動事業	2,110	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 11箇所	151
5. 地域子育て支援センター事業	54,068	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、小俣子育て支援センター明倫保育所、二見浦保育園、しごうこども園	151
6. 障害児保育事業	47,033	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 市立保育所 11箇所 対象児童 (中度) 21人 (重度) 5人	151
7. 延長保育促進事業	8,299	11時間を超過して長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所	151
8. 休日保育事業	3,459	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 一時保育事業	13,740	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 保育所きらら館、小俣子育て支援センター しごうこども園 延べ利用児童数 1日利用 1,315人 半日利用 451人	151
10. 市立保育所施設維持補修経費	7,031	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を維持補修し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 13箇所	151
11. 研修等参加経費	251	市立保育所職員の資質向上を図るため、各種研修を受講した。 三重県保育総合研修会 北信越・東海地区主任保育士研修会 公立保育所トップセミナー 等	151
12. 市立保育所管理運営経費	52,027	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設を運営管理し、安全かつ快適な環境の整備を図った。 市立保育所 13箇所	151
13. 市立保育所施設整備事業	16,205	保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。 浜郷保育所調理室空調機取替工事 大世古保育所調理室空調機取替工事 あけぼの園調理室空調機取替工事 御菌第二保育園空調機取替工事 二見浦保育園2歳児保育室前足洗い場シャワー設置工事 ゆりかご園給水管ほか改修工事 浜郷保育所屋根防水工事 御菌第一保育園改修工事 ゆりかご園駐車場整備工事 浜郷保育所便器取替工事 しらとり園テラス改修工事 きらら館テラス日よけテント改修工事 ゆりかご園テラス改修工事	151
14. 四郷地区認定こども園施設整備事業	51,431	しごうこども園開設に伴う園庭整備工事等を行った。 あさま保育所解体工事(2期) しごうこども園園庭整備工事 しごうこども園進入路拡幅工事 しごうこども園太陽光発電システム設置工事	151
15. 市立認定こども園運営経費	46,972	認定こども園において就学前児童の教育・保育を行った。 市立認定こども園 1箇所(しごうこども園) 延べ利用児童数 1,015人	151
16. 市立認定こども園維持管理経費	4,122	認定こども園の施設を維持管理し、入園児童の安全かつ快適な保育環境を維持した。 市立認定こども園 1箇所(しごうこども園)	151

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 5. 児童館費

(単位 千円)

予算現額 41,978 千円
 決算額 41,398 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,613		47	32,738

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民間児童館運営事業補助金	9,951	民間児童館を利用する児童等が健全で創造的な遊びや各種活動を安全に体験できるよう、その運営費を助成した。 対象施設数 1館(明照児童館) 年間利用延人数 17,409人	153

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 73,462 千円
 決算額 63,804 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,198			40,606

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	1,125	伊勢市人権施策推進協議会と協力して、人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、市内小中学校の児童生徒を対象とした人権尊重啓発ポスター募集事業や人権セミナーの開催など、市民の人権意識の高揚に努めた。	153

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 1,017,173 千円
 決算額 810,789 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,036	55,758	199,700	4,975	541,320

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	43,423	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 641千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 38,633千円(実績割100%) 建設経費 3,998千円(平等割10%人口割90%) 子ども手当特例交付金 151千円	頁 157
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	237,578	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 3,344千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 199,024千円(実績割100%) 建設経費 21,509千円(平等割10%人口割90%) 公債費 13,558千円(元利補給金) 子ども手当特例交付金 143千円	157
3. 生活排水対策啓発事業	198	伊勢市まちづくり市民会議環境分科会にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：勢田川七夕大そうじ、水生生物による水質調査、エコクッキング教室など	157
4. 狂犬病予防事業	589	狂犬病予防法に基づき、獣医師会と協力して、畜犬登録受付と狂犬病予防注射を行った。 畜犬登録件数 545頭 狂犬病予防注射接種件数 5,659頭	157
5. 環境審議会経費	570	伊勢市環境基本計画の進捗状況を基に施策内容等について、提言いただいた。また、地球温暖化防止を推進するため、「伊勢市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)」の策定を諮問し、審議を行った。(平成24年度継続審議) 平成23年度審議会委員21人、審議会開催数8回	157
6. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	172,106	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 395基 167,274千円 公共下水道認可区域内 38基 4,832千円	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. <u>家庭用新エネルギー普及推進事業</u>	23,833	<p>新エネルギーの導入促進および普及啓発のため、家庭用太陽光発電システム設備設置者に対し補助金1件あたり6万円を交付した。</p> <p>平成23年度 23,833千円 ・補助金 60,000円×397件 他</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 6,016千円 ・補助金 60,000円×100件 他</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 4,800千円 ・補助金 60,000円×80件 平成21年度 4,800千円 ・補助金 60,000円×80件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 太陽光発電の補助金を当初予算枠100件分を計上していたが、東日本大震災の影響による、全国的な電力の供給不足によって、節電やエネルギー消費抑制が求められたことから、再生可能エネルギー導入に関する市民の意識の高まりを受けて、昨年度を上回る勢いで5月中旬に100件の申請を受け付けた。 また、市では、電力問題への市の取組として「エネルギーの地産地消」を定め、特に太陽光発電の積極的な促進が必要と考えていることから、6月補正で200件分、12月補正で120件分の追加を行い、合計420件の申請を受け付けた。 なお、平成23年度中に工事が完了しなかった23件の申請については、繰越し対応とした。</p>	157
8. 犬猫不妊手術費等補助金	1,652	<p>犬猫の適正飼育を図るため、不妊手術費の一部助成を行った。</p> <p>補助金交付件数 犬137匹 猫382匹</p>	157
9. 環境フェア等開催事業	324	<p>環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市の取組への理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。</p> <p>日時 平成23年10月9日 開催場所 三重県営サンアリーナ 主催 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会、伊勢市</p>	157
10. 小型風力発電撤去経費	1,292	<p>市内事業者との共同研究として平成17年度に設置したが、一定の役割を終えた。費用対効果の観点から、市内4箇所に設置してある小型風力発電の撤去を行った。</p>	157

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	10,172	地域住民の福祉の充実及び向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。毎月6回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成23年度利用者数 36,186人	157

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 1,839,692 千円
決算額 1,834,184 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,659	10,100	29,482	1,771,943

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業会計繰出 金	1,580,000	病院事業に対して、通常の繰出金のほか、不良債務解消のための追加繰出しを行った。 ・通常分 550,000千円 ・追加分 1,030,000千円	159

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医療提供体制推進 事業費補助金	33,000	病院群輪番制病院の体制をとっている伊勢赤十字病院の建替えに係る設備整備費の一部を補助することにより、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図った。	159
2. 健康・医療電話相 談事業	5,502	市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスをティーベック㈱に委託し、9月1日から実施した。3,232件の相談があった。	159
3. 一次救急医療事業	4,318	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。 また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED(自動体外式除細動器)を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなどで活用できるよう貸出用も配備し、貸出を行った。	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>病院群輪番制病院 運営費補助金</u>	31,044	<p>病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院（伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院）が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。</p> <p>平成23年度は18,022人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 31,045,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢赤十字病院 382日×71,040円=27,137,280円 ・伊勢赤十字病院<小児加算分> 55日×17,760円=976,800円 ・市立伊勢総合病院 55日×53,280円=2,930,400円 <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度 30,973,440円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢赤十字病院 382日×71,040円=27,137,280円 ・伊勢赤十字病院<小児加算分> 54日×17,760円=959,040円 ・市立伊勢総合病院 54日×53,280円=2,877,120円 <p>平成21年度 31,044,480円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢赤十字病院 291日×71,040円=20,672,640円 ・伊勢赤十字病院<小児加算分> 146日×17,760円=2,592,960円 ・市立伊勢総合病院 146日×53,280円=7,778,800円 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度まで伊勢赤十字病院：市立伊勢総合病院の当番比が、2：1であったが、平成22年度から5：1となった。 ・平成24年度、土曜日、日曜日、祝日と同様に外来休診日であるため、土曜日の昼間も休日とし、補助の対象とするよう、要綱改正を行った。 	159
5. 健康文化都市推進 事業	2,070	<p>生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業や、健康づくりアドバイザー養成講座、重点事業への取組みとして、低カロリー・バランス食のレシピ集の発行やウォーキングマップの発行、講座等を実施した。</p>	159
6. 食生活改善推進事 業	810	<p>健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。</p>	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 421,477 千円
 決算額 360,656 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	69,675		240	290,741

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	206,000	全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。	159
2. 肺炎球菌予防接種助成事業	7,903	肺炎の予防及び重症化を防止するため、任意予防接種である肺炎球菌ワクチンを接種した方(65歳以上)に対し、接種費用の助成を行った。	159
3. 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業	146,753	任意予防接種である子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種を無料で受けることができるよう委託事業を実施した。	159

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 265,549 千円
 決算額 256,486 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,943	4,016		1,797	239,730

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	4,763	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査及び、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	161
2. がん検診事業	245,151	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	161
3. 歯周疾患検診事業	5,293	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 1,962人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	161

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 成人健康相談事業	759	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ127回、523人の相談を行った。	161
5. 訪問指導事業	194	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族269人に対し、生活習慣病の予防や介護予防、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	161

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 147,568 千円
決算額 130,983 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
500	27,723		359	102,401

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	544	妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、妊娠・分娩・子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。1,269人の参加があった。	161
2. 発達支援教室事業	1,758	1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。816人の参加があった。	161
3. 幼児歯科保健事業	2,973	1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。 ・むし歯バイバイ教室24回 865人 ・3歳児フッ化物塗布12回 682人	161
4. 子育て相談事業	909	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ4,082人の相談に対応した。	161
5. 新生児等訪問指導事業	1,160	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児970人、乳幼児818人、妊産婦964人の訪問を実施した。	161
6. 妊婦・乳児健康診査事業	104,106	妊娠中に14回及び乳児期に2回(4か月、10か月)計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ13,200(県外助成を含む)人、乳児は延べ1,957人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	161

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 1歳6か月児健康 診査事業	3,353	身体発育、精神発達の面で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、1,034人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	161
8. 3歳児健康診査事 業	4,824	身体発育及び精神発達の面で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、1,033人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	161
9. 妊婦歯科健康診査 事業	1,019	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てを開始できるよう、市内及び度会郡内の実施歯科医院で、378人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	161
10. 母子健康手帳交付 事業	480	妊娠の届出を行った1,066人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	161
11. <u>不妊治療費助成事 業</u>	9,857	<p>医師が必要と認めた不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費に要する費用の一部助成（費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで）を行った。 一般不妊治療89件、特定不妊治療67件に助成を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,005,000円（120件）</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成21年度 6,683,200円 104件（特定：48・一般：56） 平成22年度 8,058,200円 133件（特定：57・一般：76）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・晩婚化や出産年齢の高齢化、不妊治療の普及に伴い年々助成件数は増加している。 ・不妊治療を受けた夫婦の約3割が出産につながっている。 ・平成23年度から所得制限を廃止し、助成内容の充実を図った。</p>	161

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 52,723 千円
 決算額 47,964 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,967			2,514	20,483

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市営墓地管理一般経費	2,514	市が管理する大世古墓地及び大湊墓地並びに小俣若山墓地・納骨堂について、管理及び清掃等の墓地環境の整備並びに使用者の利便を図った。 市営墓地管理委託業務 1,198千円 墓地管理システム・駐車場賃借料 316千円 やすらぎ墓地区画使用料 325千円	161
2. 共同墓地整備事業補助金	20,483	共同墓地内の環境衛生の改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し、費用の一部を補助した。 補助金交付件数 27件	163
3. 市営墓地改修事業	24,967	市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、国の交付金を活用し、改修工事を行った。 市営大世古墓地整備工事 23,944千円	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 108,524 千円
 決算額 87,570 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			84,257	3,313

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医科診療所運営事業	80,944	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	163
2. 歯科診療所運営事業	6,626	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 3,900 千円
 決算額 3,154 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,154

環 境 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	3,154	公害防止、環境保全を図るため、水質・騒音・振動・悪臭等の調査を行い、結果を広報等で周知した。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 896,382 千円
 決算額 893,461 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			34,434	859,027

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	797,151	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 共通経費 6,794千円 (平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 404,420千円(実績割100%) 建設経費 253,811千円 (平等割10%人口割10%) 公債費 131,233千円(元利補給金) 清掃事業所分担金 600千円 子ども手当特例交付金 293千円	163
2. きれいなまちづくり推進事業	190	伊勢市まちづくり市民会議環境分科会にて、ごみの減量化・資源化対策の啓発活動に取り組んだ。 ○伊勢市駅前ごみゼロ早朝清掃 (6月5日:参加人数約400人) ○ごみゼロポスターコンクール (応募作品942作品:受賞作品66作品) ○環境フェア	163
3. 廃棄物集積所設置補助金	54,472	ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数 のべ98団体 ○補助金交付基数 354基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定	163

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 不法投棄防止対策 推進事業	1,149	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 不法投棄物：テレビ172台、冷蔵庫43台、洗濯機15台、エアコン8台、タイヤ169本他	165
5. 廃棄物減量等推進 審議会経費	38	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定した伊勢市ごみ処理基本計画の推進に関する検討を行った。 平成23年度審議会委員：14人 審議会開催回数：1回	165

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 75,035 千円
決算額 70,047 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			45,443	24,604

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 指定袋制度運営事業	44,870	ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。 ○目的 1. 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 2. 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 3. 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 ○指定袋種類 3種類 (大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ) ○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】半透明 ○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成24年3月31日現在、販売店登録数323店舗) ○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋75円、中袋54円、小袋37円(税別)	165
2. 再生資源回収推進 事業	18,144	自治会、PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対して回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。 ・交付団体数 156団体 ・回収量 3,017t (内訳) 紙類2,892t、布類54t、缶類71t、びん5,715本 ※1kg当たり6円の奨励金 びんについては、1本当たり3円の奨励金	165

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. ごみ減量化容器設置補助金	1,788	<p>生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。</p> <p>○交付申請件数 95件 ○補助金交付基数 121基 ○補助率 購入額の1/2(限度額30千円)</p>	165
4. <u>資源回収ステーション推進事業</u>	1,500	<p>ごみ収集方法等の統一に関する基本方針にある「資源ステーションの集約・拡充」を基に、ごみの減量化・資源化」を後退させることなく、市民サービスの公平性と簡素効率化により経費の削減を図る。</p> <p>○資源ステーション工事費 1,500,030円 小俣資源ステーション解体工事 杜の宮資源ステーション設置工事</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 4,578,000円 ・資源ステーション設置予定箇所 (大倉町、藤里町、鹿海町)</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度 10,349,629円 9箇所(明野資源拠点・小俣3箇所・岩淵 ・倭町・御菌・二見・東大淀) 平成21年度 11,328,672円 10箇所(小俣資源拠点・磯・御菌5箇所 ・二見3箇所)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 858箇所ある資源ステーションを伊勢市ごみ処理基本計画に基づき、平成31年度末までに約500箇所に集約するため活動しているが、高齢化により設置場所の選定、地元の理解が難しくなっている。</p>	165
5. ごみ減量・資源化事業一般経費	3,745	<p>地区別ごみの収集日を記載した「平成24年度版ごみカレンダー」を作成し、広報いせ3月1日号と同時に全戸に配布した。(平成24年度版作成部数 ごみカレンダー65,000部)</p> <p>ごみの分別方法を記載した「ごみの分け方・出し方」については、平成23年度と平成24年度で内容に変更が無いため、作成を行わず平成23年度版をご利用いただいた。</p>	165

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 786,526 千円
 決算額 776,987 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			30,242	746,745

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	230,463	<p>ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。</p> <p>○市内ステーション設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ステーション 991箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 <p>(内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御菌</p>	165
2. じん芥収集車購入事業	5,949	<p>耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図っている。平成23年度については、2tトラックと2tダンプを購入した。</p> <p>○購入車両</p> <ul style="list-style-type: none"> 2tトラック 1台 2tダンプ 1台 <p>○収集車両台数 計48台</p>	165
3. 廃棄物投棄場管理一般事業	10,725	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊勢年間搬入量 869,476kg ○小俣年間搬入量 97,400kg 	165

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 82,156 千円
 決算額 78,862 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,318			15,796	50,748

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援事業	1,522	若年求職者を対象にカウンセリングを含む就職個別相談を実施したほか、いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年無業者を支援するネットワークを構築するなど、若者の早期就職支援に努めた。	167
2. 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	167
3. 勤労者ふれあい事業	1,500	(社)伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバルを10月9日に県営サンアリーナを会場に開催した。市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約20,000人が参加し、ゆとりと豊かさを実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	167
4. 高齢者労働能力活用事業費補助金	20,743	高齢化社会が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した(社)伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	167
5. サンライフ管理運営事業	6,531	勤労者を対象とした趣味づくり、健康づくり講座を開催することで、心身の健康保持、体力増強及び教養文化の向上を図った。平成18年9月より指定管理者による運営となっている。	167
6. 労働福祉会館管理運営事業	60	伊勢市労働福祉会館運営委員会を開催し、新労働福祉会館の運営方針等について検討・協議した。	167
7. サンライフ整備事業	13,541	施設の劣化及び不備が見受けられる箇所を整備し、利用者が快適に利用できる施設環境の整備を図った。 ・サンライフ伊勢屋上防水工事	167
8. やすらぎ公園プール管理運営事業	12,803	やすらぎ公園プールを管理運営し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。	167

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 勤労者持家促進資金貸付金	7,450	市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。	167
10. 勤労者教育資金貸付金	1,000	市内に居住する勤労者とその扶養親族の教育資金について、東海労働金庫の貸付を利用した場合、その利子の軽減を実施することで、勤労者の負担を緩和し、教育の充実を図った。	167

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 2. 緊急地域雇用対策事業費

(単位 千円)

予算現額 112,194 千円
 決算額 108,485 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	107,942			543

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育・文化関連雇用対策事業	22,874	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、5事業を実施した。 ①学校教育課：学校図書館活性化支援事業 ②学校教育課：外国人児童生徒支援事業 ③文化振興課：歴史的資料等整理事業 ④生涯学習・スポーツ課：社会スポーツ団体等育成事業 ⑤教育研究所：児童生徒自立サポート事業 【新規雇用創出のべ人数：31名】	167
2. 治安・防災関連雇用対策事業	9,261	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、5事業を実施した。 ①危機管理課：木造住宅耐震化等促進啓発事業 ②消防予防課：危険物防火対象物施設データ整理事業 ③危機管理課：防犯対策支援事業 ④危機管理課：防災行政無線整備支援事業 ⑤監理課：道路改良等要望箇所電子データ化事業 【新規雇用創出のべ人数：8名】	167
3. 農林漁業関連雇用対策事業	6,351	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、2事業を実施した。 ①農林水産課：緩衝帯整備モデル支援事業 ②農林水産課：獣害対策強化事業 【新規雇用創出のべ人数：5名】	169
4. 子育て関連雇用対策事業	1,993	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、1事業を実施した。 ①教育総務課：幼保一体化に係る推進事業 【新規雇用創出のべ人数：3名】	169

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 医療関連雇用対策事業	998	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、1事業を実施した。 ①医療保険課：特定健康診査受診勧奨事業 【新規雇用創出のべ人数：1名】	169
6. 情報通信関連雇用対策事業	19,344	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、6事業を実施した。 ①広報広聴課：伊勢市みえる化推進調査事業 ②用地課：市有地台帳整備事業 ③情報調査室：事務事業データ整理事業 ④課税課：特別徴収推進事業 ⑤二見総合支所地域振興課・小俣総合支所地域振興課：保存文書等整理事業 ⑥課税課：登記情報照合入力事業 【新規雇用創出のべ人数：27名】	169
7. 介護・福祉関連雇用対策事業	9,536	失業者に対して次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業として、5事業を実施した。 ①障がい福祉課：補装具・日常生活用具給付履歴データベース化 ②介護保険課：介護保険事業計画策定事業 ③生活支援課：生活保護費債権管理事業 ④介護保険課：介護給付適正化調査事業 ⑤長寿課：寿バス乗車券年度更新案内事業 【新規雇用創出のべ人数：11名】	169
8. 観光関連ふるさと雇用再生事業	18,096	地域の雇用再生のため、地域求職者等を雇い入れて実施する事業として、次の2事業を実施した。 ①観光企画課：伊勢市観光推進事業 ②観光企画課：観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業 【新規雇用創出のべ人数：6名】	169
9. 介護福祉関連ふるさと雇用再生事業	20,032	地域の雇用再生のため、地域求職者等を雇い入れて実施する事業として、次の1事業を実施した。 ①障がい福祉課：日中一時支援事業 【新規雇用創出のべ人数：6名】	169

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 177,396 千円
 決算額 177,211 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				177,211

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	39,038	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 41,739 千円
 決算額 27,278 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,817	7,717		47	3,697

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業経営基盤強化促進事業	322	優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。 認定農業者件数 107件 (平成24年3月末現在)	171
2. 農業近代化資金等利子補給補助金	902	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	171
3. 農業振興地域整備促進経費	472	農業諸情勢の変化、地域の土地利用の動向を踏まえ、地域の活性化に向けた適切で有効な土地利用との調整を図り、農用地の見直しを行った。	171
4. 農業振興補助金	16,042	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	171
5. 戸別所得補償制度推進事業	7,559	農業作物の販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 地産地消推進事業	1,282	市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。また、100%市内産米の米飯給食の実施をめざし、学校給食用米（みえのえみ）の市内での生産を推進した。	171
7. 特色ある農産物づくり支援事業	250	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	171
8. 農業体験学習事業	318	食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	171

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 56,327 千円
決算額 51,670 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	104		1,509	50,057

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマンの森維持管理経費	5,954	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合 ・開館日数 359日 ・来客人数 134,086人	171
2. 伊勢市都市農山村交流促進施設維持管理経費	2,402	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 264日 ・来客人数 15,592人	171
3. 平家の里施設解体経費	11,753	農業構造改善事業によって整備した平家の里関連施設について、平成18年度より指定管理者により管理運営を行ってきたが、利用者の減少、平成21年度以降指定管理者が不在であること、また地元の意向等を踏まえ施設の解体を行った。	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>農地・水・環境保全向上対策事業</u>	18,645	<p>○農業の持つ多面的機能の適正な発揮のため、農業者・非農業者の地域ぐるみでの保全向上活動を促進し、国・県と共に支援を行った。 活動実施組織 22組織</p> <p>○農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、老朽化が進む農業用排水路、農道などの補修・更新等に対して支援を行った。 活動実施組織 7組織</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 16,257,270円 ・交付単価 田(4,400円/10a)、畑(2,800円/10a) ・負担割合 国(1/2)、県(1/4)、市(1/4) ・活動組織 22組織 ・活動面積 田134,365 a 畑12,516 a</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度 15,463,110円 活動組織 22組織 活動面積 1,460ha 平成21年度 15,951,230円 活動組織 21組織 活動面積 1,435ha</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成23年度より、これまで実施してきた共同活動に加え、老朽化が進む農業用排水路など補修等に対して支援を行う向上活動交付金が開始されることとなった。 ・国の予算減額に伴い補助金が活動期間である3年間分確保できていないため、年度により減額された場合、現在の負担割合(国1/2、県1/4、市1/4)が変更される可能性がある。</p>	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,393 千円
決算額 3,393 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,393

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 松阪食肉公社施設 維持管理対策補助 金	3,386	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、主要株主により支援を行った。	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 652,499 千円
 決算額 557,784 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
107,920		361,700	10,263	77,901

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助金	55,010	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・19件	173
2. 県営ため池整備事業負担金	21,500	県営ため池等整備事業負担金 ○戸部神地区 事業内容 仮設工、本土工等 一式 事業期間 平成20年度～平成24年度 事業費 215,000千円 負担区分 工事費 国50% 県30% 市20% →伊勢市負担額 43,000,000円 →うち現年12,900,000円、繰越30,100,000円 H22繰越8,600,000円	173
3. 県営かんがい排水事業負担金	120,381	県営かんがい排水事業負担金 ○宮川2工区 事業内容 用水路工一式 事業期間 平成17年度～平成24年度 事業費 140,000千円 負担区分 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市11.7% →伊勢市負担額 2,457,000円 →うち現年2,413,125円 繰越43,875円 H22繰越1,755,000円 ○宮川4工区 事業内容 幹線用水路L=430m 事業期間 平成18年度～平成27年度 事業費 200,000千円 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% →伊勢市負担額 30,000,000円 →うち現年5,250,000円 繰越24,750,000円 H22繰越51,000,000円 ○宮川4工区その2 事業内容 用水路工一式 事業期間 平成19年度～平成25年度 事業費 90,000千円 負担区分 国50% 県25% 市15% 宮川用水10% →受益面積割 伊勢市99.938% →伊勢市負担額 13,491,630円 →うち現年7,495,350円 繰越5,996,280円 H22繰越52,467,450円	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 経営体育成基盤整備事業負担金	50,619	<p>県営経営体育成基盤整備事業負担金</p> <p>○有田地区</p> <p>事業内容 幹線用水路L=310m 支線用水路一式</p> <p>事業期間 平成17年度～平成25年度</p> <p>事業費 180,300千円</p> <p>負担区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線(125,100,000円) 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5% →受益面積割 伊勢市13.5% ・支線(左岸47,710,000円) 国55% 県27.5% 市町3.5% 地元14% →受益面積割 伊勢市1.2% ・支線(小俣7,490,000円) 国55% 県27.5% 市町3.5% 地元14% →伊勢市負担額 1,971,038円 →うち現年989,588円 繰越981,450円 H22繰越1,404,400円 <p>○小俣地区</p> <p>事業内容 幹線用水路L=2,300m 支線用水路L=2,680m 農道 L=1,090m</p> <p>事業期間 平成21年度～平成26年度</p> <p>事業費 500,000千円</p> <p>負担区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線(346,131,000円) 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% 支線(63,869,000円) 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣改14.35% 農道(90,000,000円) 国55% 県27.5% 市17.5% →伊勢市負担額 52,374,974円 →うち現年33,799,974円 繰越18,575,000円 H22繰越14,425,000円 	173
5. 県営ふるさと農道整備事業負担金	98,700	<p>県営ふるさと農道整備事業負担金</p> <p>○二見町松下地区</p> <p>事業内容 橋梁工一式</p> <p>事業期間 平成10年度～平成24年度</p> <p>事業費 220,000千円</p> <p>負担区分 県65% 市町村35%</p> <p>→伊勢市負担額 77,000,000円 →うち現年75,250,000円 繰越1,750,000円 H22繰越額23,450,000円</p>	173
6. 農道整備事業	17,397	<p>農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一之木5丁目地内 農道整備(その1) 工事 ほか8件 	173
7. 農業用排水路整備事業	12,102	<p>農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見町今一色地内 農業用排水路(その1) 工事 ほか8件 	173
8. 給水栓整備事業	3,396	<p>当該地区の農業用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西豊浜町地内 給水栓設置 55箇所 	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 農村振興整備事業	176,308	農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。 ・西豊浜町地内 集道3-1号工事 ほか5件 ・馬瀬町地内 農排3-1号工事に伴う測量設計業務委託ほか6件	173

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 97,049 千円
決算額 92,607 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	131		41,295	51,181

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 桧尻排水機場樋管解体経費	14,854	国土交通省による勢田川護岸工事実施に伴い、占用物件である桧尻排水機場樋管を撤去する必要が生じたことから、それにかかる経費を負担した。	175

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	33,343	排水機場の定期的なポンプ、エンジンのオーバーホール、除塵機等設備の整備補修等を実施することにより、施設の機能保持と耐用年数の確保を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とし、土地改良施設維持管理適正化事業に加入することで、事業費の90% (国：30%、県：30%、市：30%) の交付金を受けるものである。 また交付金90%のうちの市負担30%と、2.5%の事務費を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。 (概要) ○土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 30,993 千円
決算額 24,705 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,095		64	18,546

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 森林病虫害防除事業	8,367	海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布17.2ha 伐倒破砕22.3m3 樹幹注入322本	175

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 獣害防止事業	1,336	増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。 また、伊勢地区猟友会に有害獣（猪・鹿・猿）捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。 仔猪：3,000円/頭 猪・鹿：5,000円/頭 猿：10,000円/頭 実績 仔猪7頭 猪78頭 鹿59頭 猿7頭	177
3. 森林環境創造事業	851	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は4.13ha実施した。	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 4,879 千円
決算額 4,346 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	165			4,181

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 魚礁効果調査事業	913	昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁について、設置状況と魚類等の集状況を調査し、適切な施設の維持管理及び設置効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。	177
2. アサリ養殖振興事業補助金	1,838	主力水産物であるアサリ資源の減少により、生産高がここ数年激減しているため、伊勢市各地先にアサリ種苗を放流して資源の増大、漁家経営の安定を図った。	177
3. 種苗（クルマエビ等）育成事業補助金	144	伊勢湾に小型底曳網漁業等で漁獲されるクルマエビ・ヨシエビ・クロダイ・ヒラメの各種苗を放流して、資源の増大と生産の安定を図った。	177
4. 稚鮎等放流事業補助金	600	宮川本支流にアユ・ウナギ・アマゴの稚魚を放流して、資源の増大と生産の向上を図った。	177
5. 漁業近代化資金利子補給補助金	74	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借入れに生じる利子を補給し、復旧に必要な資金の借入れの円滑化と漁業経営の再生を図った。	177
6. 水産教室実施事業	37	市立大湊小学校5年生（28名）に伊勢市の漁業に関する講習、施設見学、体験学習を実施し、将来就く職業の一つとして考えてもらうよう、漁業への啓発を図った。	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 干潟保全活動支援事業	740	地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 25,888 千円
決算額 21,617 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,450	9,111		230	10,826

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水産物供給基盤機能保全事業	18,101	漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、効果的・効率的な施設の改良・更新による長寿命化を図るため、施設の老朽化機能診断に基づいて、機能保全計画書を作成した。	179

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 54,539 千円
決算額 52,055 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,956	32,468	7,700	5,836	1,095

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 豊北漁港整備事業	40,044	○豊北漁港航路浚渫工事 航路に土砂が堆積し、船舶の航行に支障をきたしているため、航路浚渫を行い、船舶の安全航行の確保を図った。	179
2. 豊北漁港改良事業	2,099	○豊北漁港護岸修繕工事 有滝護岸に段差が生じているため、修繕工事を行い、漁業者が安全・安心した作業を行えるように、機能回復を行った。	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書
3. <u>津波・高潮危機管理対策緊急事業</u>	9,912	<p>漁港区域内における護岸の老朽化が著しいことから、早期に改修を行い、背後地の住民の生命・財産を守るため、護岸の設計を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊北漁港護岸構造設計業務委託ほか2件 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 13,000千円 測量・地質調査・設計委託業務 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度からの新規事業。</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県補助金が減額されたため、事業費を減額した。 ・設計精査、入札差金により生じた執行残額については、平成24年度に執行する。 ・平成23年度に行った設計に基づき、平成24～25年度に護岸改良工事を行う。 	頁 179

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 49,309 千円
 決算額 48,899 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,672			45,227

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	3,814	架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活にまつわるトラブルについて、専門相談員による相談を行った。また、被害を未然に防ぐため、高齢者クラブを中心に出前講座を行った。消費生活相談件数 438件	179

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 45,649 千円
 決算額 37,933 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				37,933

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 商工制度資金利子補給事業補助金	15	平成18年末までに小俣町商工会の斡旋により小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じた利子の補給補助を行い、小俣町商工会管内の商工業者の設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 4件	179
2. 小規模事業資金保証料補給補助金	7,135	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行い、設備資金及び運転資金の円滑化を図った。補助件数 182件	179
3. 経営改善普及事業補助金	7,200	小俣町商工会が、商工業者に対して実施する経営改善普及事業に要する経費に対し、補助金を交付し、商工業の発展を図った。	181
4. 中小企業相談所事業補助金	9,500	伊勢商工会議所内に設置された中小企業相談所が実施する中小企業への経営改善指導事業等に対し、補助金を交付し、中小企業の振興を図った。	181

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. TMO構想推進協働事業	1,256	賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場として中心市街地を再生・活性化させるために、中心市街地に設置された「いせTMO」の活動拠点において、地域住民、商業者、商工会議所と連携を図りながら、賑わいを創出する事業の活動支援や、取り組みについての情報交換を実施した。 また、各商店街や中心市街地で開催される各種イベント等の周知やチャレンジショップ事業募集などの情報発信を行った。 事業着手年度 平成16年度～	181
6. TMO構想推進事業補助金	2,690	商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する事業に補助金を交付した。 (1)空店舗等対策事業 ①活用モデル事業 1件 ②テナント確保支援事業 2件 ③チャレンジショップ事業 2件 (2)商業まちづくり補助金事業 5団体 (3)各種調査事業	181
7. <u>住宅・店舗リ フォーム促進事業 補助金</u>	9,628	市内関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、住宅や店舗のリフォーム又は増改築を行う者に対し、補助金を交付した。 補助交付件数 110件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,000,000円 ・一般住宅 60件 ・店舗等 20件 【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度からの新規事業 【事業を取りまく状況等】 本補助金制度が、リフォーム又は増改築を行うきっかけとなり、地域経済の活性化につながった。	181
8. 地域産品販売促進事業	509	式年遷宮に向けて、伊勢の魅力を全国に発信し、特産品のPR、販路拡大を図るため、首都圏において物産展を開催した。 東京交通会館 2回	181

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 86,275 千円
 決算額 83,234 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	104		4,311	78,819

産業支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 産業支援推進一般経費	7,411	企業支援員を配置し、市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、企業訪問を通じて製造業者個々の課題を把握し、企業支援員自らの知識・技術で解決できることは直接対応し、解決が困難な課題に対しては、関連支援機関等への橋渡しや、支援策の紹介を行ないその解決に向け対応した。	181
2. ものづくり推進事業	6,861	中小製造業者等が行う新製品、新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を交付した。 また、製造業を対象とした、人材育成を図る「ものづくりセミナー」や販路開拓を図る大都市圏での展示会への出展を行うとともに、伝統工芸の振興を図るためにシンポジウム等を開催した。	181
3. 起業支援推進事業	5,131	創業支援員を委託し、起業者に対して課題解決のアドバイスや経営・財務などの相談支援を行った。また、起業啓発イベントや実務セミナーなどを開催し、起業の気運向上を図った。	181
4. 産業支援推進施設管理経費	8,156	産業振興の拠点としての産業支援センター施設及び企業誘致用地の適正な維持管理に努めた。	181

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>企業立地推進事業</u>	7,953	<p>産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、首都圏での企業立地セミナー開催、全国の企業を対象とした企業動向調査、市内企業への情報収集などを実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 8,138,000円 ・企業訪問の実施 ・企業立地セミナー開催 ・企業誘致パンフレット、チラシ作成 ・日経事業用地ナビ（事業用地検索サイト）への掲載 ・新聞広告掲載 3回 ・神菌工業団地不動産鑑定評価 ・企業立地動向調査 ・立地用地PR用DVD作成 ・伊勢志摩地域産業活性化協議会負担金</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度 1,442,907円 ・企業訪問の実施 ・企業誘致パンフレット作成 ・新聞広告等掲載 2回 ・企業立地動向調査 ・立地用地PR用DVD作成 ・伊勢志摩地域活性化協議会負担金 平成21年度 1,066,000円 ・企業訪問の実施 ・企業誘致パンフレット作成 ・新聞広告等掲載 2回 ・企業立地動向調査</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・サン・サポート・スクエア伊勢については昨年度は3件の企業誘致に成功し、全体面積の約61%が分譲済みとなった。 ・震災以降、津波等に対する企業の危機意識の高まりから、高台への工場移転という選択肢が注目されるようになり、サン・サポート・スクエア伊勢への問い合わせも増えており、新規立地に向けて追い風となっている。一方で厳しい経済環境下、産業界において活発化している生産拠点の統廃合などによる既存立地企業の地域外流出を防ぐため、既存立地企業の事業高度化や、地域内での二次投資の支援などの対策も必要となっている。</p>	181
6. 工場等誘致奨励事業	1,245	<p>「伊勢市工場等誘致奨励条例」に基づき、奨励金を交付した。 奨励金実績 1,244,875円（2件）</p>	181

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 178,951 千円
 決算額 170,727 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,291	1,500		2,164	159,772

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市矢持会館管 理事業	1,209	平成21年4月1日から運営を休止していた農林漁業体験実習館の施設を、平成23年4月1日から伊勢市矢持会館と名称を変更し、矢持町下村区を指定管理者と定め、集会施設として運営を開始した。	183
2. 伊勢活性化プロ ジェクト事業	449	外宮前名物「御饌井」についてアドバイザーを派遣し、仕組みや情報発信方法の見直しを行った。	183
3. <u>バリアフリー観光 向上事業</u>	11,001	<p>高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただく基盤を整え、国内の宿泊旅行者数を増加させることを目的に、市内観光宿泊施設に対し、バリアフリー観光の無料相談やバリアフリー改修補助金の交付（1/2補助・上限400万円）などの支援を行った。</p> <p>委託料 2,832,000円 補助金 8,149,000円（7施設）</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 委託料 2,832,000円 相談20件、改修に伴う業務10施設 補助金 40,000,000円 @4,000,000×10件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 23年度からの事業のため実績無し</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 ・高齢社会化や障がい者の社会進出により、障がい者、高齢者の来訪機会増加が予想される。 ・観光地としてバリアフリー対応が必須となりつつある。 ・事業者の意識啓発、実際の接遇対応強化が課題</p>	183

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 初参り旅客接遇事 業負担金	500	(社)伊勢市観光協会は地元団体と協力し初詣客に対して、伊勢市駅前広場等でおもてなし事業を行い、また文化発信のため年越餅を配布した。	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>おもてなし推進事業</u>	1,229	<p>平成25年の御遷宮に向けて、内宮周辺を訪れる観光客への車椅子貸出事業、観光客のスムーズな誘導を目的とした案内サイン整備事業、観光業者及びタクシー等おもてなし従事者を対象とした研修会を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 5,330,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 1,000,000円 ・案内サイン整備事業 1,500,000円 ・授乳コーナー設置工事 1,000,000円 ・奉祝団体歓迎事業 1,300,000円 ・観光人材育成事業 530,000円 <p>【過去2カ年度の実績】 23年度からの事業のため実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 平成24年度での本格実施に向けて実証実験・調査を行った。 ・案内サイン整備事業 観光客のスムーズな誘導を目的に2地区、計12箇所サイン設置を行った。今後も新設改良を行っていく。 ・授乳コーナー設置工事 広範囲に多くの授乳スペースを観光客に提供できるようスペース提供の依頼を行い、紹介をしていく。 ・奉祝団体歓迎事業 来勢する奉祝団体に対して安全に実施できるよう受入体制を整える準備を行った。今後は、受入組織を構築していく。 ・観光人材育成事業 観光業者・タクシー等おもてなし従事者を対象とした研修会を3回実施した。今後は範囲を拡大し研修会を実施する予定。 	183
3. 案内所運営委託事業	12,094	<p>伊勢市駅・宇治山田駅・二見浦観光案内所で、観光客の案内を行った。（（社）伊勢市観光協会、二見浦観光物産組合、（社）シルバー人材センターに委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市駅観光案内所 91,053件 (うち外国人 1,391件) ・宇治山田駅観光案内所 34,797件 (うち外国人 393件) ・二見浦観光案内所 11,821件 (うち外国人 222件) 	183
4. 観光協会負担金	5,878	<p>（社）伊勢市観光協会の財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援を行った。</p>	183

二見総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	10,211	<p>国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図り、より多くの集客に繋げた。また、老朽化している施設の修復について事前調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 5,700千円 (指定管理料) ○入館者数 H22年度 32,898人 ・賓日館台風復旧工事等 1,030千円 ・旧賓日館事前調査業務委託 1,995千円 ・賓日館園庭樹木剪定業務委託 1,486千円 	183
2. 海水浴場管理運営事業	2,925	<p>二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 1,429千円 (管理運営委託) (社)伊勢市観光協会へ委託 896千円 (防護フェンス設置委託等) ○修繕料 205千円 (二見浦海水浴場施設柵修繕工事等) ○その他諸経費 395千円 ○開設期間 平成23年7月2日～8月31日 ○来場者数 H23年度 15,200人 	183

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 75,091 千円
決算額 72,348 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			703	71,645

観光企画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	21,824	<p>誘客宣伝を目的に、広告、パンフレット、ホームページ、セールス活動等情報発信を行い、来訪者の新規開拓、リピーターの確保を図った。</p>	183
2. 広域連携事業	5,483	<p>近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化する観光客ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。</p>	183
3. 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業	4,000	<p>観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等伊勢への誘客事業を積極的に推進した。</p>	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 各種集大会等誘致 開催補助金	3,360	伊勢市への集大会の誘致を積極的に図り、市内への来訪・滞在者数を増加させることにより観光による経済波及を促すため、県大会規模以上の各種集大会の主権者に対し、補助金を交付した。	183
5. 伊勢志摩広域観光 活性化事業	16,563	伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び地域観光圏整備事業、伊勢志摩キャンペーン等を実施した。	183
6. <u>外国人観光客誘致 推進事業</u>	2,151	外国人観光客誘致事業として、関係各所と各種事業を協働するとともに、訪中ミッション等セールスによる外客誘致に参画した。 <ul style="list-style-type: none"> ・中国国内のHPを立ち上げ、伊勢鳥羽写真コンテストを行うとともに、ブロガーを招へいする事業に参加 ・三重県の訪中ミッションに参加 ・ビジットジャパン事業への参加 【当初予算における内容、計画】 当初予算額2,458,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・中国領事館等を通じて紹介された要人を招へいしてのプレゼン・商談の実施。 ・伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会の訪中ミッション参加。 ・ビジットジャパン事業への参加 【過去2カ年度の実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 3,891,233円 (ランドオペレーター招へい・中国ミッション参加・欧州旅行見本市出展等) ・平成21年度 735,722円 (韓国ミッション・中国ミッション・中国滞在型冬季訪日ゴルフパック造成事業参加等) 【事業をとりまく状況等】 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客誘致は市単独で行うよりも、広域で行う方が効果的である。 	185
7. 地域産業首都圏振 興事業	981	伊勢市観光御師などの首都圏の観光要人を伊勢に招へいし、シンポジウムを開催した。また、首都圏情報発信基地について伊勢市観光協会と検討するとともに、首都圏での観光PRを実施した。	185

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広域連携事業	2,786	近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化しながら多様化する観光客ニーズを的確に捉え、効率的かつ効果的な誘客宣伝並びに受入体制の充実を推進した。	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. おもてなしスキル アップ事業	500	外国人観光客に特化したおもてなしを考える団体「Welcomeいせの会」が外国人観光客の目線からおもてなしを考え、伊勢ツアーを開催したほか、作成した案内カードを利用しておもてなしを図った。	185
3. 春の行事負担金	700	日本さくらの名所百選の宮川堤において（社）伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、訪れた花見客の安全対策等を行った。（4月1日～10日）	185
4. 花火大会開催負担 金	14,000	52業者の花火師が参加。打上花火の部52組、スターマインの部10基の2部門で競われ、全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられ、約23万人が観覧した。	185

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 31,400 千円
決算額 31,400 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				31,400

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民俗伝統行事推進 事業負担金	26,400	平成25年に行われる「お白石持行事」に向けて、各地元奉獻団における出発地、奉獻順序を決定し、行事本番を想定した第1回現場シミュレーション等の準備を進めた。また、「お白石持」の幟、リーフレットの作成、TV番組制作等による情報発信に努めた。	185
2. 伊勢のまつりブラ ンド化推進事業	5,000	10月15日に外宮前にて、日本全国の有名な祭り19団体約1,000名による響演「祭りのまつり」が開催された。また、翌16日には伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。	185

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 236,680 千円
 決算額 233,686 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,336			227,350

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地籍調査推進事業	13,638	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 ○調査区域 ①岩淵2丁目 調査面積 0.07 k m ² 調査前筆数 413筆 実施工程 D・E2・F・G工程 ②岩淵3丁目・岩淵町 調査面積 0.12 k m ² 調査後筆数 329筆 実施工程 F1・H工程 ③岩淵1丁目 調査面積 0.10 k m ² 調査前筆数 566筆 実施工程 E1工程	頁 185

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 188,233 千円
 決算額 185,850 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
680				185,170

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 道路管理経費	5,057	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。	頁 187
2. 道路台帳整備経費	12,075	道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 11.6 km 廃止及び未共用 4.9 km 改良 0 km	187

用 地 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	1,361	建築行為等に際して、道路後退用地の寄付採納を行い、狭あい道路の解消を図った。また、寄付採納した後退用地の舗装工事を行った。 (概要) 公共用地の取得(寄付) 2件 地権者数 3人 筆数 2筆 面積 9.77㎡ 舗装工事 4件 面積 75.46㎡	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 181,033 千円
 決算額 179,702 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				179,702

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	35,881	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 また、危険箇所、老朽箇所を補修し、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 23,142,000円 ・舗装工事 3件 A = 4,255.0㎡ 【旧小俣分】 12,738,600円 ・舗装工事 1件 A = 1,811.0㎡	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 473,604 千円
 決算額 463,620 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,378		342,000	8,816	102,426

監 理 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	4,943	三重県が施行した道路改良事業に対し、負担を行った。 (伊勢大宮線、横輪南勢線、伊勢南勢線、鳥羽松阪線、一般国道42号)	187

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	114,482	<p>市民生活に密接した道路の拡幅等を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計業務 一式 2件 測量業務 一式 4件 調査業務 一式 3件 設計業務・調査業務 一式 1件 測量業務・設計業務 一式 2件 道路改良 L = 278.2m 2件 道路舗装 A = 807.8㎡ 1件 試掘 2箇所 1件 用地 A = 1,025.06㎡ 補償 19名 (延べ人数) 補償 1名 (平成24年度へ一部繰越) <p>②平成22年度からの繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査業務 一式 1件 用地 A = 159.92㎡ 	187

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>道路側溝等改良事業</u></p>	<p>344,195</p>	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 また、危険箇所等の補修を行い、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。</p> <p>現年分 292,137,300円 ・測量設計等 53件 ・一般改良 23件 L=5,922.1m</p> <p>平成22年度からの繰越分 52,057,950円 ・一般改良 8件 L=1,164.6m</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 292,850,000円 ・測量設計等 一式 ・一般改良 19件 L=6,510m</p> <p>繰越予算額 52,150,000円 ・一般改良 2件 L=1,210m</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 現年分 210,542,850円 ・測量設計等 76件 ・一般改良 29件 L=3,967.66m</p> <p>繰越分 193,088,700円 ・一般改良 16件 L=3,963.9m ・排水工 1件 一式</p> <p>平成21年度 現年分 409,994,760円 ・測量設計等 51件 ・一般改良 22件 L=7,598.6m ・分筆登記等 3件 ・用地買収 1件 ・補償 1件</p> <p>繰越分 43,875,300円 ・一般改良 6件 L=1,038.9m</p> <p>【事業を取りまく状況等】 道路施設は、破損、劣化、老朽化などにより、工事の必要な箇所は毎年生じるため、事業は永久的に必要となる。 これまで継続的に事業を実施してきたが、現在でも市民要望は多数寄せられており、要望に対処しきれていない状況である。</p>	<p>187</p>

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 42,854 千円
 決算額 42,835 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,824		105	40,906

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	13,462	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 【旧伊勢分】 10,083,150円 ・道路反射鏡 40基 ・道路照明設備 2基 ・区画線工 2,624.0m ・カラー舗装 237.0m ² 【旧二見分】 832,650円 ・道路反射鏡 5基 【旧小俣分】 1,930,215円 ・道路反射鏡 6基 ・カラー舗装 100.25m ² 【旧御菌分】 616,350円 ・道路反射鏡 4基	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 209,440 千円
 決算額 128,502 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
62,534		50,500	2,355	13,113

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 勢田5号線ほか1線整備事業(交付金)	1,819	本路線は、主要地方道伊勢磯部線と緊急時の拠点となる県庁舎を結ぶ重要路線であるが、道路幅員が狭く、急カーブがあるため安全性に欠ける。このことから、緊急時の道路機能を保持し、市民生活を守るため、本路線の事業を推進している。また、今年度は設計業務と用地取得を行った。 (概要) 設計業務 一式 1件 用地 A=1.95m ²	189

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 神久1号線ほか1 線整備事業（交付 金）	2,274	<p>本路線は、道路幅員が狭く車両の対向も困難であり、特に朝夕の通勤通学時には車両と歩行者が混在し、非常に危険な状態となっていることから、安全性の確保及び道路機能の向上を図るため、本路線の事業を進めている。また、今年度は測量及び設計を行った。</p> <p>（概要） 測量業務・設計業務 一式 1件</p>	189
3. 西36号線ほか1 線整備事業（交付 金）	27,585	<p>本路線周辺の主要道路は、小学生児童の通学路として、またバス路線としても利用されているが、道路幅員が狭く、地域住民の安全に支障をきたしていることから、安全性の確保及び道路機能の向上を図るため、本路線の整備を進めている。また、今年度は調査業務、用地取得、建物補償のほか道路改良工事（一部繰越）を行った。</p> <p>（概要） ①現年分 道路改良 L=25.0m 1件 (平成24年度へ一部繰越) 用地 A=68.68㎡ 補償 2名(延べ人数) ②平成22年度から繰越 調査業務 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業</p>	189
4. 柏東大淀線整備事 業（防衛）	22,724	<p>本路線は、東大淀町から国道23号へ通じる生活道路であり、隣接する柏町から災害時避難場所への最短ルートであるが、車道の有効幅員が4.0m未満と狭小であった。このため、車両の交互通行や陸上自衛隊明野駐屯地周辺地区の緊急避難及び消防救援活動に支障をきたしているため、道路整備を行った。また、今年度は未完了箇所工事及び関連道路の舗装を行った。</p> <p>（概要） 道路改良 L=140.5m 1件 (平成22・23年度継続費) 舗装 A=666㎡ 1件 ◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業（補助）</p>	189
5. 神路線ほか2線整 備事業（交付金）	39,949	<p>伊勢神宮外宮と月夜見宮、伊勢市駅を結ぶ本路線は、景観に配慮し、石張舗装を施されているが、経年劣化による段差など歩行に支障をきたしているため整備を行った。また、今年度は未完了箇所の舗装工事を行った。</p> <p>（概要） ○平成22年度からの繰越 舗装 A=1,784.5㎡ 2件 ◇社会資本整備総合交付金事業</p>	189

事業名	決算額	施策の成果	決算書
6. 茶屋25号線ほか 1線整備事業(交付金)	643	<p>名勝二見浦がある本地区は、特に休日に駐車場不足による混雑が発生し、住民の生活環境が悪化している。このため交通結節点の二見浦交通広場を整備することに合わせて本路線の整備を進めることで、国道42号からのアクセスが円滑になるよう事業を進めた。また、今年度は調査業務、用地取得、建物補償を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>調査業務 一式 1件 用地 A = 223.71㎡ (平成24年度へ繰越)</p> <p>補償 5名(延べ人数) (平成24年度へ繰越)</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	<p>頁 189</p>
7. 桧尻川22-10 号線整備事業(交付金)	33,508	<p>本路線周辺は、大型商業施設及び集合住宅、さらには伊勢赤十字病院の開院に伴い、交通渋滞がますます悪化している。このため、周辺の交通機能を充実させ、渋滞緩和及び防災道路としての機能向上を図るため、本路線の整備を進めた。また、今年度は用地取得、道路改良及び安全施設の工事を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>○平成22年度から繰越</p> <p>道路改良 L = 180m 1件 安全施設設置 一式 1件 用地 A = 1,474.12㎡</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	189

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 1. 河川総務費

(単位 千円)

予算現額 99,901 千円
 決算額 99,075 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				99,075

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 宮川左岸高水敷利用計画策定経費	499	<p>宮川床上浸水対策特別緊急事業で生じる宮川左岸の高水敷の利用計画について、平成22年度に作成された素案にパブリックコメントの意見を取り入れ、原案の検討を行った。</p> <p>(概要) ◇宮川左岸高水敷利用計画図作成業務委託 一式</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,777,000円 ・宮川左岸高水敷利用計画懇談会 3回 ・宮川左岸高水敷利用計画図作成業務委託 一式</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成22年度 1,196,000円 ・宮川左岸高水敷利用計画懇談会 3回 ・宮川左岸高水敷利用計画図作成業務委託 一式 平成21年度 (なし)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成23年2月22日までの懇談会で意見を集約できたため、新たに懇談会を開催する必要がなくなった。 ・今後は、国が行う用地取得の進捗により、利用計画の策定を進めていく。</p>	191
2. 宮川右岸堤防改修対策経費	177	<p>国が施行する宮川右岸堤防の改修工事を円滑かつ迅速に進めるため、宮川右岸堤防改修対策協議会を設置し、関係機関と意見調整を図った。</p> <p>(概要) ◇宮川右岸堤防改修対策協議会 2回</p>	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 2. 勢田川対策費

(単位 千円)

予算現額 16,466 千円
 決算額 15,919 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,992				4,927

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 勢田川浄化経費	14,298	<p>平成5年10月から、宮川7.4km地点(辻久留2丁目地内)で取水し、勢田川5.1km地点(小田橋下流)に、0.7m³/秒以下、4.4km地点(吹上ポンプ場付近)に0.3m³/秒以下の導水を行っている。 (平成23年度稼働日数324日)</p>	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 13,972 千円
 決算額 11,957 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				11,957

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	11,957	護岸の侵食が著しい河川の改良を行うための用地取得及び調査、測量、設計を行った。 (概要) 測量業務 一式 1件 調査設計業務 一式 1件 基本設計業務 一式 1件 用地 $A = 378.28 \text{ m}^2$ 補償 2名 (延べ人数)	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 5. 河川改修事業費

(単位 千円)

予算現額 122,423 千円
 決算額 122,402 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
48,820			21,727	51,855

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 準用河川大堀川支 川改修事業 (防 衛)	122,402	土地形状の変化や排水流出量の増加に伴う河川の断面不足により、豪雨時の浸水被害が近年多発していた。浸水被害の防止が急務となっているため、河川改修を図った。また、今年度は築堤護岸工を行った。 (概要) 水質調査業務 一式 1件 水位調査業務 一式 1件 ろ過装置管理業務 一式 1件 工損調査業務 一式 1件 河川改良 右岸 $L = 1,290.0 \text{ m}$ 左岸 $L = 1,277.3 \text{ m}$ 築堤盛土工 $V = 9,122 \text{ m}^3$ (平成22・23年度継続費) ろ過装置増設 一式 1件 ◇防衛施設周辺障害防止事業 (補助)	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 7. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 229,420 千円
 決算額 166,728 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		16,900	110,338	39,490

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 排水施設整備事業	166,728	<p>豪雨時の急激な増水による浸水を防止するとともに、生活環境の向上を図るため、排水路の整備、排水機場の整備等を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①現年分 調査業務 一式 2件 測量業務・設計業務 一式 3件 工事施行委託 一式 1件 機械設備工 一式 1件 配管撤去工 一式 1件 排水路改良工 一式 2件 (平成24年度へ一部繰越) 土木工 一式 1件 (平成24年度へ一部繰越) 用地 補償 A=53.31㎡ 1名 (平成24年度へ繰越)</p> <p>②平成22年度から一部繰越 機械設備工 一式 1件 電気設備工 一式 1件 排水路改良工 一式 1件</p> <p>③平成22年度から繰越 補償 1名</p>	頁 193

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 21,927 千円
 決算額 18,261 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,235	9,800	321	3,905

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 県営事業地元負担金	11,184	<p>三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。</p> <p>海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区、神前地区、松下地区 港湾改修：宇治山田港（大湊）</p>	頁 193

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 2,335,425 千円
 決算額 2,273,670 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	252	4,900	3,562	2,264,956

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢市道路整備プログラム策定事業	100	平成20年度から平成21年度にかけて、未整備の都市計画道路を対象として、必要性及び計画線形・幅員等について検証し、見直しを行い、平成22年度に都市計画道路を含めた市内の幹線道路について、効率的・効果的な道路整備を推進するため、道路整備の優先度等を整理する伊勢市道路整備プログラムの案を作成した。これを踏まえ今年度は、パブリックコメントを実施し広く市民等からの意見を聞き入れ、修正等の検討を終えた後に伊勢市道路整備プログラムの策定を行った。	頁 195
2. 景観形成推進事業	800	平成21年10月1日に発効した伊勢市景観計画の中で市町村合併前の旧二見町における「二見町の景観・文化を守り、創り、育てる条例」に定める区域設定と修景基準を踏襲する形で、二見茶屋地区を重点地区として指定した。しかし、景観計画を運用するにあたり、当該地区における景観特性をより活かしたものとするため、景観形成基準や地区の範囲について見直す必要が生じたため、それに係る調査研究を行った。 また、内宮おほらい町地区と二見町茶屋地区における建築物又は工作物の建設において、助成基準に則する外観の修景にかかる費用の1/3を建築物は100万円、工作物は50万円を上限として、補助金交付することとしている。平成23年度における補助金申請件数は0件であった。	195

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 103,531 千円
 決算額 78,855 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,332		14,400	46,317	14,806

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中心市街地再生事業	2,040	<p>社会資本整備総合交付金を活用し、まちづくり活動推進事業として、地域の資源を活かし、中心市街地の賑わいを創出するための市民主体によるまちづくりを進めた。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,162,000円 (委託料) 市民活動支援(伊勢市駅周辺地区)事業委託 (1件当り上限500,000円) 2,000,000円 (事務費) 伊勢市駅前再生検討委員会経費 162,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ・平成18年度から平成22年度まで実施した伊勢市駅周辺整備事業の流れを継承し、平成23年度からは本事業において市民主体のまちづくり活動を支援していく。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・第1期計画の目標であった「団体育成」からステップアップし、「団体の企画力向上」等を目的とした市民主体のまちづくり活動を支援していく。</p>	195

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小俣町本町地区周辺整備事業	9,945	<p>宮川駅への円滑なアプローチを確保し、周辺市街地の活性化と鉄道の利用促進を図るため、駅周辺の道路環境の整備を進めた。</p> <p>(概要) ○平成22年度から繰越 道路舗装 A=807.8㎡ 1件</p>	195
2. 宇治山田駅前広場整備事業	6,224	<p>宇治山田駅前広場の再生・活用を図るとともに、市民及び来訪者の安全を確保するための整備を進めた。</p> <p>(概要) ○平成22年度から繰越 設計業務 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業</p>	195

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 565,482 千円
 決算額 403,925 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
195,420	5,300	186,800	3,932	12,473

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	25,721	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (秋葉山高向線、新国道)	197

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業	113,672	八日市場高向線ほか1線は、伊勢市の交通分散路線としての幹線道路であるとともに、災害時の円滑な通行可能路線に位置づけられており、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的とし整備を進めた。 (概要) 除草業務 一式 1件 調査業務 一式 2件 用地 A = 259.25㎡ ◇社会資本整備総合交付金事業	197
2. 八日市場高向線整備事業(交付金)	184,979	八日市場高向線は、伊勢市の交通分散路線としての幹線道路であるとともに、災害時の円滑な通行可能路線に位置づけられており、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的とし整備を進めた。 (概要) ①現年分 調査業務 一式 1件 境界杭設置業務 一式 1件 用地 A = 367.89㎡ ②平成22年度から繰越 道路改良 L = 23.4m 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	197
3. 街路施設改良事業	5,329	名勝二見浦がある二見町茶屋地区は、特に休日に駐車場不足による混雑が発生し、住民の生活環境が悪化している。このため、交通結節点として二見浦交通広場の整備を進めた。 (概要) 測量業務 一式 1件 設計業務 一式 1件 用地 A = 8.46㎡(平成24年度へ繰越)	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書																								
4. <u>伊勢市駅前広場整備事業</u>	44,214	<p>伊勢の顔づくりとしての景観を創造し、交通結節点としての機能の向上を図るとともに、広場機能の充実を図るための整備を進めた。今年度は便所の新築と駐輪場の整備を行い、広場の詳細設計を行った。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>便所新築</td> <td>1棟</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>試掘</td> <td>3箇所</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>仮駐輪場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>駐輪場整備</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 59,237,000円 ・伊勢市駅前広場設計委託 A=4,200㎡ ・伊勢市駅南側トイレ整備工事 A=100㎡ ・伊勢市駅南側駐輪場整備工事 A=620㎡</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度からの新規事業 (ただし、測量については平成19年度に、基本方針、基本設計については平成19年度～21年度に伊勢市駅周辺整備事業において実施済。)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・伊勢市駅前広場は、老朽化が進んでいることに加え、バス・タクシー、一般車両が集中し、運転者や歩行者にとって大変危険な状況となっている。平成25年の神宮式年遷宮に向けて交通結節点としての機能の向上、また広場機能の充実を図ることが急務となっている。 ・用地の約半分がJR東海所有地であり、現在の駅前広場管理協定に基づいて工事を行うことから、JR東海との協議・調整が必要である。 ・非常に厳しい工程の中、徹底した工程管理を行い、24年度内完成を目指す。</p>	設計業務	一式	1件	便所新築	1棟	1件	試掘	3箇所	1件	仮駐輪場整備	一式	1件	駐輪場整備	一式	1件	頁 199									
設計業務	一式	1件																									
便所新築	1棟	1件																									
試掘	3箇所	1件																									
仮駐輪場整備	一式	1件																									
駐輪場整備	一式	1件																									
5. 宇治山田駅前広場整備事業	30,010	<p>宇治山田駅前広場の再生・活用を図るとともに、市民及び来訪者の安全を確保するための整備を進めた。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>横断歩道橋撤去</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成24年度へ繰越)</td> </tr> <tr> <td>駅前広場整備</td> <td>A=2,788㎡</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成24年度へ一部繰越)</td> </tr> <tr> <td>照明灯設置</td> <td>16基</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成24年度へ繰越)</td> </tr> <tr> <td>歩道整備</td> <td>A=479.7㎡</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(平成24年度へ一部繰越)</td> </tr> </table> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	横断歩道橋撤去	一式	1件			(平成24年度へ繰越)	駅前広場整備	A=2,788㎡	1件			(平成24年度へ一部繰越)	照明灯設置	16基	1件			(平成24年度へ繰越)	歩道整備	A=479.7㎡	1件			(平成24年度へ一部繰越)	199
横断歩道橋撤去	一式	1件																									
		(平成24年度へ繰越)																									
駅前広場整備	A=2,788㎡	1件																									
		(平成24年度へ一部繰越)																									
照明灯設置	16基	1件																									
		(平成24年度へ繰越)																									
歩道整備	A=479.7㎡	1件																									
		(平成24年度へ一部繰越)																									

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 333,624 千円
 決算額 305,533 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,774	29,800	190,500	2,177	21,282

観光事業課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 朝熊山麓公園サッカー場整備事業	135,659	朝熊山麓公園を健康増進及び生涯スポーツの拠点と位置付け、市民がよりスポーツに親しみやすい環境づくりを行うため、サッカー場2面の設計業務、測量業務、ボーリング調査業務、サッカー場造成工事等を行った。	199

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 倉田山公園整備事業	3,620	倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設及び、憩いやスポーツレクリエーションの場としての整備を行う。これを踏まえ、都市計画公園区域の変更に係る設計及び測量、地質調査を進めている。 (概要) ・設計業務 一式 1件 (平成24年度へ一部繰越) ・測量業務 一式 1件 (平成24年度へ一部繰越) ・地質調査業務 一式 1件 (平成24年度へ繰越)	199

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公園整備事業(交付金)	31,175	都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めた。 (概要) 公園改修 一式 2件 便所改築 2棟 2件 ◇社会資本整備総合交付金事業	199
2. 高向西公園整備事業(防衛)	32,570	御薮町高向地区の非常時における緊急避難場所の確保を図るとともに、地区住民の快適なレクリエーション・コミュニティ活動の場を提供するために公園整備を進めた。 (概要) 整備工事 一式 1件 便所新築 1棟 1件 ◇防衛施設周辺民生安定施設整備事業	199

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 都市公園安全・安心対策事業	64,663	都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めた。 (概要) 平成22年度から繰越 公園改修 一式 7件 排水柵設置 一式 1件 便所新築 1棟 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	199

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 220,270 千円
決算額 212,029 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
51,240			125,449	35,340

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高齢者向け優良賃貸住宅家賃対策事業	9,568	民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。 (施設概要) 名称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化	199
2. 住宅等改修事業	39,492	市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要) ①現年分 改修工事 対象 西豊浜団地 屋外給水管取替 一式 ②平成22年度からの繰越 空家解体工事 対象 さくらアパート 2棟36戸 旭ヶ台団地 1棟 2戸	199

事業名	決算額	施策の成果	決算書
3. 住宅等整備事業	27,909	<p>平成23年度に策定した「社会資本総合整備計画（地域住宅支援分野）」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。</p> <p>(概要)</p> <p>高齢者仕様改善工事</p> <p style="padding-left: 20px;">倭隠岡団地 1棟5戸</p> <p style="padding-left: 20px;">一之木第2団地 1棟2戸</p> <p>公共下水道接続工事</p> <p style="padding-left: 20px;">北明野団地 42戸</p> <p>駐車場整備（舗装）工事</p> <p style="padding-left: 20px;">五十鈴川団地 293㎡</p> <p>浄化槽機械室解体工事</p> <p style="padding-left: 20px;">五十鈴川団地 1棟</p> <p>老朽化市営住宅入居者移転促進事業（移転補償）</p> <p style="padding-left: 20px;">勢田団地ほか3団地 4件</p>	<p style="text-align: right;">頁</p> <p style="text-align: center;">201</p>

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,868,245 千円
 決算額 1,850,572 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,890		20,400	375,511	1,433,771

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	7,764	救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。 軽量空気ポンプ 560千円(10本) 軽量消防用ホース 1,099千円(40本) 防火外套一式 4,749千円(40組)ほか	201
2. 消防自動車購入事業	67,160	車両更新計画により、老朽化した、広報車を含む消防自動車3台を更新した。 広報車 1台 2,561千円 水槽付消防ポンプ自動車(1-B型) 二見出張所配備1台 31,080千円 玉城出張所配備1台 33,075千円ほか	201

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 118,338 千円
 決算額 110,988 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,143			8,904	93,941

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	1,104	消防車両に積載してある消防用ホースを購入した。 軽量消防用ホース 44本 1,017千円ほか	203
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	14,956	消防団車両更新計画に基づき経年の小型動力ポンプ付積載車3台を更新した。 小型動力ポンプ付積載車 3台 14,805千円ほか (楠部班、二見第3班(溝口)、東大淀班)	203

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 71,994 千円
 決算額 56,267 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,826		21,300	794	29,347

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	6,970	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓9基を設置し、消防水利の普及を図った。 6,970千円 単口消火栓8基 双口消火栓1基	203
2. 消防団車庫改修事業	687	消防団車庫敷地内の舗装工事を行い既設車庫を整備した。 四郷分団朝熊班2車庫敷地舗装工事 127㎡ 687千円	203
3. 消防団車庫建替事業	18,218	防災拠点である、消防団車庫を老朽化のため新設し、消防力の向上を図った。 二見分団第3班車庫改築工事 5,641千円 木造1階建：建築面積 26.5㎡ 二見分団第4班車庫改築工事 4,825千円 木造1階建：建築面積 23.19㎡ 消防団小俣分団小俣第2班車庫改築工事（繰越明許費） 12,801千円 鉄骨造2階建：建築面積50.40㎡ 平成22年度執行額 5,120千円 平成23年度執行額 7,681千円	203
4. 防火水槽新設事業	6,936	防災の基盤である消防水利を充実させることにより「災害に強い、安心・安全なまちづくり」の向上を目的とし、老朽化した防火水槽を耐震性を有するものに更新した。 防火水槽撤去・新設工事 6,936千円 防火水槽213t撤去・耐震性防火貯水槽40t新設	203

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 585,965 千円
 決算額 503,787 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
188,586	33,572	145,900	7,783	127,946

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 自主防災隊資機材購入事業	286	新規結成の自主防災隊に対して、資機材倉庫や消火器などを交付し、地域防災力の向上を図った。	頁 205
2. 自主防災隊補助事業	9,087	伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治区を行う防災事業・活動に対し補助を行った。 自主防災隊訓練助成金 2,160千円 72件 防災補助金 6,927千円 62件	205
3. 防災行政無線管理運用経費	38,996	住民への災害情報伝達手段として整備した防災行政無線の管理運用に努めた。	205
4. 地域防災力向上支援事業	3,886	○地域における防災の取組みを促進するため、自治会や自主防災隊及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災講座を実施した。 ○モデル地区において、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、防災情報を記載した地区の防災マップを作成した。 ○地域防災の中心的役割を担う自主防災隊のリーダーを対象に研修会を行い、自主防災隊の活性化を促進した。 ○地震からの被害を最小限にとどめるため、家具固定の知識を広く普及啓発することを目的に家具固定講習会を実施した。	205
5. 災害時要援護者対策事業	624	高齢者、障がい者などの災害時要援護者を対象に家具固定事業を実施した。 取付世帯 53世帯	205
6. 東日本大震災対策経費	5,296	○岩手県陸前高田市や宮城県名取市と塩竈市に対して、「消火活動及び人命救助」、「避難所における健康相談」、「支援物資の運搬や仕分け作業」などの業務に消防士や保健師及び一般事務職員を派遣し、被災地支援を行った。 ○東日本大震災で被害を受けた宮城県や千葉県浦安市に災害用毛布や災害用簡易トイレなどの物資支援を行った。	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 避難対策事業	7,635	○避難所の立地箇所や施設構造等の専門的な分析を行い、避難所の見直し業務を行った。また、避難所検討専門委員会を立ち上げ、新たな避難所を指定するための基準案を作成した。 ○宮川床上浸水対策特別緊急事業の完了に伴い、浸水想定範囲が減少するため、既存の「伊勢市避難勧告等の判断・伝達マニュアル」の修正を行った。	205
8. 備蓄物資整備事業	18,718	○伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資の整備推進を図った。	205
9. 防災行政無線整備事業	326,206	防災行政無線を操作する遠隔制御卓の設置を行うとともに、旧伊勢地区及び現在難聴地域となっている地域への屋外拡声子局の整備を図った。 ・屋外拡声子局設備 一式 ・遠隔制御卓整備 2台（二見・小俣） ・再送信子局整備 2基（鍛冶屋峠、松下社） ・再々送信子局 1基（菖蒲公民館） ・発電機 1台（鍛冶屋峠）	207
10. <u>住宅・建築物耐震改修等促進事業</u>	50,863	○阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。 診断件数 448件 ○木造住宅耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。 補強工事 16件 補強設計 27件 除却工事16件 リフォーム工事14件 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 28,872,000円 ・耐震診断 200件 ・補強工事 10件 ・除却工事 20件 ・補強設計 15件 【過去2ヵ年度の実績】 平成22年度 17,835,000円 ・耐震診断 95件 ・補強工事 8件 ・除却工事 17件 ・補強設計 10件 平成21年度 13,756,000円 ・耐震診断 65件 ・補強工事 7件 ・除却工事 9件 ・補強設計 11件 【事業を取りまく状況等】 東日本大震災等の影響により耐震診断を受ける人は大幅に増加した。また、耐震補強等により住まいの安全を確保される世帯は、年々増加している。	207

農 林 水 産 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 東日本大震災対策 経費	10,336	東日本大震災の津波で被害を受けた黒のり養殖施設の残骸処分や海水吸水施設の土砂撤去を行う漁協を支援し、漁業生産の再開と地域経済の安定を図った。	205

小俣総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 防災行政無線管理 運用経費	793	町内各自治会が地区遠隔装置を使用する際に発生する電話使用料のうち、基本料金に対して補助を行った。 2, 350円×12月×27回線(26自治区) = 761,400円	205

御菌総合支所 地域振興課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. CATV緊急防災 システム管理運営 経費	2,087	御菌町地域は災害時の緊急連絡手段としてCATVを利用した情報システムを運用しているため、転入、転居者等のCATVへの加入金、機器の設置費を負担し、地域の防災情報連絡手段の整備を実施した。 負担金支出世帯 43世帯	205

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 568,502 千円
 決算額 541,826 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,968	1,320		17,273	501,265

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市教育振興基本計画策定事業	340	平成18年12月の教育基本法改正に基づき、国において策定された「教育振興基本計画」に伴い、新たな教育指針として「伊勢市教育振興基本計画」を策定した。 ◇計画期間 : 5年間(平成24年度～平成28年度) ◇策定実施内容: 伊勢市教育振興基本計画策定委員会(全5回実施) パブリック・コメント (平成23年12月15日～平成24年1月16日)	207
2. 学校行事開催事業	2,604	子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。 ○科学創作展 ・内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日 : 平成23年9月3日(土)・4日(日) ・開催場所: 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 195千円 ○教育美術展 ・内容 : 児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日 : 平成23年11月26日(土)・27日(日) ・開催場所: 伊勢市生涯学習センター ・委託料 : 300千円 ○音楽演劇発表会 ・内容 : 児童生徒による合唱・吹奏楽・太鼓の演奏会が行われた。 ・委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 ・開催日 : 平成23年11月11日(金) ・開催場所: 伊勢市観光文化会館 ・委託料 : 1,967千円 ○伊勢まつり「小学生連合鼓笛パレード」「中学生吹奏楽」「公立幼稚園ダンス」 ・内容 : 天候不順のため参加中止 ・委託先 : 伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 ・開催日 : 平成23年10月15日(土)・16日(日) ・開催場所: 県道鳥羽松阪線 尼辻交差点～伊勢市駅前 ・委託料 : 429,565円	207
3. スクールバス運行事業	8,210	三重交通㈱にスクールバス運行業務を委託し、横輪・矢持地区及び高麗広地区の児童生徒の通学上の安全を確保した。	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 奨学金育英事業補助金	4,626	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学：6人 県内大学：6人 公立高校：42人 私立高校：5人 公立高専（1～3年）：3人	209
5. 私立学校等振興助成事業	106,028	○私立幼稚園就園奨励費補助金（国の補助事業） 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数：953人 ・補助金支給額：92,318千円 ○私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。 ・補助金支給者数 755人 ・補助金支給額：3,775千円 ○幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。 ・補助金支給額：9,936千円	209

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校教育支援事業	112,217	学習支援員や教育支援ボランティアを配置し、特別支援学級や通常学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた指導・支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。	207
2. 就学指導委員会事業	158	次年度就学予定児及び小中学校に在籍する児童生徒について、障がいの種類や程度等を的確に把握するとともに、その保護者等に適切な情報を提供し、観察活動・教育相談を通じ、一人ひとりに応じた就学指導を行った。	209
3. 特別支援教育推進事業	297	子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・大学教授・特別支援学校教諭・保健師等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会、保護者啓発のための講演会等を実施した。	209

事業名	決算額	施策の成果	決算書
4. <u>子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業</u>	1,008	<p>児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。</p> <p>① 「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施 ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。今年度の応募総数は1072点。そのうち、市長賞各部門1点、教育長賞各部門1点、優秀賞各部門小中学校別に各2点、入賞各部門小中学校別に各3点を決定した。入選作品集を作成し、入賞者の他小中36校、市立図書館、県内市町教育委員会等に配付した。</p> <p>② 事業推進校（小学校5校、中学校4校）において高齢者や障がいのある人の疑似体験を実施し、高齢者や障がいのある人への理解や共感につなげる活動が進められた。平成23年度の事業推進校は、佐八小・北浜小・上野小・今一色小・御菌小・港中・北浜中・城田中・二見中の9校。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 業務委託料 900,000円（事業推進校9校×100,000円） 消耗品費 108,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ※本事業は平成22年度から実施 平成22年度 1,513,653円 ・事業委託料 900,000円（事業推進校9校×100,000円） ・備品購入費 518,910円 ・消耗品費 94,743円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・事業開始の平成22年度の「やさしいまち発見大賞」作品応募数は514点であったが、23年度は1072点に増加している。本事業の周知がすすむことでさらに応募数の増加が見込まれる。 ・入賞作品の実現化を図るための予算措置が課題である。</p>	頁 209
5. 非核・平和運営事業	1,007	<p>各中学校から生徒代表2名（男女各1名）と、引率教員2名、指導主事2名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビ、報告文集を作成し、広く市民に平和の尊さを伝えた。</p>	209

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 163,453 千円
 決算額 157,389 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			40,449	116,940

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 不登校対策ハート ケア事業	559	不登校児童生徒のための教育支援センター「NEST」 では、通級生一人ひとりの社会的自立を目指した学校復帰 に向けて、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行っ た。 通級児童生徒数 23名 相談件数(述べ件数) 1049件 (電話756件、来所153件、学校訪問140件)	209
2. 教育研究研修推進 経費	3,204	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進め るとともに、教職員・保護者・市民対象の研修講座を開催 し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。 研究運営 課題研究プロジェクト 他 10件 研修運営 研修講座 23講座	209

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 子どもリレーションシップ総合推進事業	29,463	<p>「いじめ」の早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」の研究を行った。</p> <p>研究推進のためモデル校を24校指定し、非常勤講師の配置による研究体制の強化を図るとともに、Hyper-QUの結果・分析に基づいた研修会を実施し、学級集団づくりを支援した。また、学校・保護者が連携していじめの未然防止に取り組むため、保護者向けのパンフレットを作成し、全保護者に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 23,014,175円 ・研修会講師経費（報償金、旅費他） 511,568円 ・活動消耗品（図書、消耗品） 51,660円 ・実践事例集印刷経費 1,125,600円 ・Hyper-QU実施委託経費 4,005,540円 ・施設使用料 0円 ・生活指導負担金 754,320円 <p>【当初予算における内容、計画】 34,422千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 26,370,000円 ・研修会講師経費（報償金、旅費他） 462,000円 ・活動消耗品（図書、消耗品） 53,000円 ・実践事例集印刷経費 1,523,000円 ・Hyper-QU実施委託経費 5,208,000円 ・施設使用料 36,000円 ・生活指導負担金 770,000円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成22年度 11,280千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 7,746,770円 ・研修会講師経費（報償金、旅費他） 795,310円 ・活動消耗品（図書、消耗品） 43,050円 ・実践事例集印刷経費 570,150円 ・Hyper-QU実施委託経費 2,124,780円 <p>平成21年度 0千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>平成22年度に13校、平成23年度には24校（平成22年度に実施の13校含む）で非常勤講師の配置と「子どもの人間関係づくり」の研究体制強化支援を行ったが、全ての小中学校において本事業を2年間実施するには、平成25年度までの期間が必要となる。</p> <p>また、よりよい学級集団づくりを行うには、継続した支援が必要であることから、今後の支援方法などについて、早期に検討する必要がある。</p>	209
4. スクールサポート事業	20,125	<p>小中学生の教育、不登校及びいじめ等の問題について、学校及び保護者等からの相談に対し、教育コンサルタントが電話及び面接により対応するとともに、状況に応じ学校訪問・家庭訪問を行った。さらに、児童生徒・保護者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施し、専門的且つ継続した指導及び心のケアを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談件数 142件 ・カウンセリング 632件 	209
5. 小学校教育用コンピュータ管理経費	51,400	<p>小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。</p>	211

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 中学校教育用コンピュータ管理経費	18,393	中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	211

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 61,701 千円
決算額 60,248 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				60,248

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	952	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伊勢市人権講演会 池田香代子さん（作家・翻訳家）を講師として招き、平成23年12月4日にいせトピアで開催（約200人の参加）し、人権に対する正しい理解と認識を広めることができた。 ○ 第6回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い 大沼えり子さん（作家）を講師として招き、平成23年7月26日にいせトピアで開催（約350人の参加）し、人権に対する正しい理解と認識を広めることができた。 ○ 管理職（校長）人権教育研修会 市内小・中学校での人権教育の取組をよりいっそう深めるため、管理職（校長）を対象に平成23年6月30日に講演会、意見交換等の研修会を開催した。 	211
2. 人権教育研究委託経費	800	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市内各小中学校等の加盟団体にて、実践の交流・研修会の開催・人権教育のカリキュラムの研究等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	211
3. 同和問題地域啓発推進事業	386	市内の4地域を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなって、各地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、各地域2回ずつ啓発活動を行った。	211
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	721	小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。 平成23年度、小俣・明野小学校区を設立し、結成団体数20団体から21団体となった。	211
5. 子ども人権フォーラム21開催事業	615	市内全小中学校の代表者が、小学生の部（11月30日）・中学生の部（12月7日）に分かれ、いせトピアにて一堂に会し、人権問題に係る人権作文の発表を聞いた後、自校の人権学習や生活の場で学んだことをもとに自らの体験等を発表しあった。その学びをすべての学校で還元し、人権学習をより充実させることができた。	211

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 人権教育推進一般経費	447	先進的な取組を学ぶことができる研修会に参加し、最新の情報や資料を得ることができた。 「小中学校人権教育授業実践事例集(300部)」「人権の芽(1,350部)」を作成・印刷し、各学校へ配付するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に役立たせることができた。	211
7. 中学校区ヒューマン・ライツ推進事業	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成23年度は、宮川・港・豊浜・城田・小俣・御園中学校区を研究指定校区に指定し実施した。	211

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 19,446 千円

決算額 18,054 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				18,054

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	698	人権問題に関する理解と認識を深めるため、子ども人権スクール、成人学習講座などを開き、市民に学習の場と機会を提供した。	211
2. 教育集会所管理経費	17,356	人権教育の拠点としての教育集会所を管理運営するために、嘱託職員(5名)を設置するとともに、光熱水費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者(市民)が安全快適に利用できるように体制を整えることができた。	211

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 437,979 千円

決算額 425,317 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,144			144	417,029

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校備品購入経費	7,319	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	213

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 小学校整備事業	41,384	<p>小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧気中開閉器取替え工事（北浜小） 336千円 ・プールサイド改修工事（厚生小） 4,823千円 ・プールろ過機取替え工事（修道小） 3,142千円 ・西口門扉改修工事（中島小） 525千円 ・プランコ設置工事（大湊小） 1,260千円 ・通路舗装工事（佐八小） 473千円 ・給湯器ほか設置工事（修道小） 441千円 ・トイレ給水管改修工事（小俣小ほか） 1,229千円 ・渡り廊下改修工事（浜郷小） 1,765千円 ・ベランダ改修工事（四郷小） 1,260千円 ・屋内運動場屋根塗装工事（御菌小） 4,723千円 ・運動場改修工事（有緝小） 1,770千円 ・屋内運動場防水工事（厚生小） 1,804千円 ・洋式トイレ設置工事（城田小ほか） 8,490千円 ・屋内運動場天井改修工事（城田小） 1,292千円 ・バリアフリー改修工事（神社小） 1,730千円 ・階段手摺設置工事（神社小） 415千円 ・校舎防水改修工事（浜郷小） 11,739千円 （うち7,049千円は平成24年度へ繰越） ・第2音楽室改修工事（有緝小） 1,029千円 ほか 	213

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	612	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	213

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 101,489 千円
決算額 99,737 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,435	192		1,818	91,292

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	19,969	<p>○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 24校（小学校全校） ・整備額 18,191,826円 <p>○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備（理科教育振興法に基づく）を国の補助を受け整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 9校（進修小学校ほか） ・整備額 1,514,361円 <p>○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備校 3校（明倫小学校ほか） ・整備額 262,395円 	213

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 学校図書館充実経費	13,992	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校（小学校全校）	213
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	33,920	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費・修学旅行費・学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 575人 （要保護 12人、準要保護 563人）	213
4. 遠距離児童通学費扶助事業	1,900	遠距離通学等を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、二見小学校	213

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教科書等購入経費	23,791	主たる教材の「教科書」と参考資料である「指導書」を購入することにより、教職員による効果的な指導を支援し、児童生徒に学習内容の確実な定着を図る。23年度からの小学校新学習指導要領の実施により教科書採択が平成22年度に実施され教科書が変わったため、23年度は、全教科書、指導書を購入した。	213
2. 学びのグレードアップ総合推進事業	3,580	小学校新学習指導要領に対応した基礎学力の定着と学習意欲の向上を図ることを目的として、児童の学習到達度を明らかにし指導に生かすとともに、研究指定校による実践研究を展開した。	215

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 226,345 千円
決算額 215,261 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,769				211,492

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校備品購入経費	4,370	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	215

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 中学校整備事業	3,881	中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 ・高圧気中開閉器取替え工事（御園中） 536千円 ・第2理科室床張替え工事（宮川中） 441千円 ・洋式トイレ設置工事（二見中） 1,373千円 ・屋内運動場洋式トイレ設置工事（小俣中） 1,050千円 ・屋内運動場内装改修工事（豊浜中） 441千円 ・体育館天井改修に伴う工事（豊浜中） 40千円	215

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	270	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	215

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 112,598 千円
 決算額 107,882 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,824	141		2,511	101,406

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	12,175	○教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校（中学校全校） ・整備額 10,620,684円 ○理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備（理科教育振興法に基づく）を国の補助を受け整備した。 ・整備校 5校（倉田山中学校ほか） ・整備額 1,354,003円 ○特別支援教育設備整備 新設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校（港中学校ほか） ・整備額 200,759円	215
2. 学校図書館充実経費	10,187	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校（中学校全校）	215
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	37,149	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者 398人 （要保護 9人、準要保護 389人）	215

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 145,219 千円
 決算額 139,837 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
716			17,016	122,105

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園整備事業	2,925	伊勢市内の幼稚園施設及び学習環境の一層の充実を図った。 プール塗装改修工事(小俣幼) 693千円 プールサイド改修工事(小俣幼) 1,384千円 下水道接続工事(明野幼) 651千円 土間排水管改修工事(明野幼) 99千円 雑排水樹改修工事(明野幼) 98千円	217
2. 幼稚園備品購入経費	802	幼稚園管理、事務処理など幼稚園運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、幼稚園環境の充実を図った。	217

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 88,764 千円
 決算額 88,425 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				88,425

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	701	1. 社会教育委員兼公民館運営審議会委員 市の社会教育の推進を図り、社会教育に関する諸事業に対して協議した。 ○委員会議2回開催 ○第42回東海北陸社会教育研究大会(岐阜大会)に参加し、第4分科会では委員が事例発表を行なった。 ○第48回東海北陸公民館大会(inみえ/桑名)に参加 ○三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加 2. 伊勢市・飯田市婦人会交流事業 両市の友好親善を深めるとともに、婦人会活動の充実と明るいまちづくり活動を全市的に推進するための相互研修として交流会を実施した。	217
2. 女性学級開設事業	1,002	修道・有緝第1・有緝第2・明倫・厚生・中島・早修・浜郷婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。 開講数 642回 延参加者数 6,285名	217

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 33,642 千円
 決算額 32,556 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,687	23,869

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館管理運営経費	31,387	公民館施設を市民が安心し、快適に利用できるよう老朽化に伴う施設の改修等を行い施設の維持管理に努めた。	219
2. 公民館補助金	1,169	地域において指定管理をしている御菌町内の市立公民館備品整備に係る経費の一部(2/3)を補助した。 また、市内自治会が住民の交流の場として設置する地区公民館の建設にかかる費用の一部を補助した。 川端町公民館(鉄骨造平屋建)	219

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 61,444 千円
 決算額 52,384 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,096	155		837	36,296

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民芸能祭開催事業	1,280	10月から11月の日祝を中心に観光文化会館・伊勢市生涯学習センターにおいて、市内の舞台芸能70団体、1,595名が参加。2,681人が鑑賞した。	219
2. 美術展覧会開催事業	1,243	第58回美術展覧会を平成23年11月1日～6日までの6日間にわたり開催。美術に対する理解を深めるため、会期中に三重県立美術館友の会との共催で美術セミナーを開催した。 出品点数 317点 観覧者数 2,046人	219
3. 文化財保存整備事業補助金	2,276	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成23年度対象事業及び市補助金決算額】 ○木造地藏菩薩立像美術工芸品保存修理 ・補助事業者 宗教法人 金剛證寺 ・決算額 1,356千円 ○御頭神事民俗文化伝承・活用等 ・補助事業者 高向区 ・決算額 920千円	219

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 造船資料保存調査 経費	171	所管する旧市川造船所資料の価値を明らかにして、適切な保存を図るための調査を継続的に実施している。 平成23年度は、船舶設計図等紙資料の調査を行った。	219
5. 指定無形民俗文化財等保存継承事業 補助金	2,023	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・馬瀬狂言保存会他22団体	219
6. 文化財案内板設置 事業	400	市内の旧跡等の文化財に対し、文化財案内板等を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成23年度は、河崎2丁目に「河崎の環濠遺跡」案内板と「伊勢河崎商人館」誘導サインを設置した。	219
7. 二見浦保存管理計画 運営経費	204	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成23年度は現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を3回開催した。	219
8. <u>旧豊宮崎文庫保存 修理経費</u>	2,377	「旧豊宮崎文庫」には、往時の文庫を偲ぶ建築物として門と練塀(ねりべい)が現存しているが、いずれも経年による破損がみられるため、平成23～25年にかけて保存修理を行うものである。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 8,730千円 ・調査設計委託 ・門と練塀の一部解体工事等 【過去2カ年度の実績】 ・平成23年度からの新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・調査・設計期間を延長し、指導委員等からの客観評価を得て修理方針を検討することとし、万全を期して修理工事に着手した。 ・事業期間を当初の2カ年から3カ年に延長した。	221
9. 旧豊宮崎文庫保存 管理活用計画策定 経費	91	大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、適切な保存管理及び活用を行うため、その基準となる保存管理活用計画を策定するものである。平成23年度は、計画策定に向けて関係分野の専門家による史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画策定委員会を組織し、委員会を2回開催した。	221
10. 山田奉行所記念館 特別展開催事業	454	山田奉行所友の会に委託して、山田奉行所に関連する特別展示を開催し、常設展示を補完した。 ・夏季特別展：「災害と山田奉行②水害について」 1,182人 ・冬季特別展：「伊勢の製塩」 735人	221

事業名	決算額	施策の成果	決算書
11. 全市博物館構想推進経費	139	博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を5,000部作成し、市内博物館等で配布した。また、文化資産の情報を発信するため、市内の観光ガイドを対象に「案内人養成講座」を2回開催した。	頁 221

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 9,343 千円
決算額 8,610 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,610

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 青少年健全育成推進事業	1,660	1. 全国的に展開される青少年健全育成活動に合わせ、横断幕や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 2. 青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、地域指導者の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 ○平成23年8月27日、地域の青少年健全育成活動者を対象に、研修会「青少年の健やかな成長を願う～家庭の絆と地域の人々とのつながりをもとめて～」を開催。伊勢市ならびに南勢志摩エリアの活動者118人が出席した。	頁 221
2. 飯田市交流会実施事業	1,104	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小学生が児童会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 平成20年度より夏季の隔年訪問交流とし、23年度は飯田市児童代表が本市を訪問した。 ○平成23年8月3～4日、伊勢市の小学生82人と飯田市の小学生24人が、たて干し体験、水族館見学、伝統芸能体験、レクリエーション、児童会活動発表等により交流を深めた。	221
3. 成人式開催事業	1,506	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日になみ、平成24年1月8日、伊勢市観光文化会館 大ホールにて、「新成人のつどい」を開催した。 新成人代表25人からなる実行委員会において企画運営を行い、地元企業から協賛をいただき、思い出の写真上映や実行委員作成の記念冊子を配布した。 成人者数 男638人 女640人 計1,278人 出席者数 男543人 女539人 計1,082人	221
4. 青少年対策一般経費	69	平成24年2月23日、伊勢市青少年問題協議会を開催し、青少年の非行概況と傾向、市内小中学校の生徒指導の状況、相談センターの現状、23年度の主な活動についての確認と、24年度の方針を決定した。	221

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 相談センター管理 運営事業	4,271	街頭指導を575回実施し、延1,799名が参加した。合計499名の少年(内女子127名)を指導した。 環境浄化活動として、市内、コンビニ、カラオケ等に立入調査を12回実施し、155名が参加し、延べ181箇所 で調査を行った。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 188,851 千円
決算額 187,663 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,912			3,710	157,041

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書整備経費	35,474	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料を購入し、図書館利用の 促進を図った。 購入図書資料 伊勢図書館 8,123冊 小俣図書館 5,665冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 36点 小俣図書館 42点	223
2. ブックスタート支 援事業	1,616	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の 交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入っ たブックスタートパックを配付した。 配付数 1,103人	223
3. 図書館運営経費	150,573	伊勢市立伊勢図書館では、平成18年4月より、民間の 能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うた め、指定管理者制度を導入している。 伊勢市立小俣図書館でも、伊勢図書館の指定管理者制度 更新に合わせ、平成21年4月から指定管理者制度を導入 している。 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種図書館行事を 開催するなど、市民の図書館利用促進に取り組んだ。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 12,224 千円
 決算額 11,938 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,123		669	10,146

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	7,435	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、公民館等を利用し住民の生涯学習への参加・啓発を目的とし、通年講座・前期講座・後期講座として各種教室を実施した。 (小俣公民館講座) 全18講座 受講者数357名 (二見公民館) 全11講座 受講者数167名 (御菌公民館) 全13講座 受講者数229名 2. 団体への助成 小俣、二見、御菌地域において、サークル活動や文化祭等生涯学習事業に取り組む伊勢文化サークル協会の活動を補助し、地域における文化活動を支援した。	223
2. 放課後子どもプラン推進事業	1,886	放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、教育委員会と福祉部局が連携を図り、総合的な放課後対策として実施している。 教育部局が実施する「放課後子ども教室」は、地域で活動する団体にモデル事業を委託し、事業実施に取り組んだ。 (モデル地域) ・おばた子どもチャレンジ教室 (委託先: 伊勢文化サークル協会小俣支部) ・いすずウキウキ教室 (委託先: 総合型地域スポーツクラブ「いすずウキウキクラブ」) ・ふたみ子どもチャレンジ教室 (委託先: 二見町子ども会育成会連絡協議会)	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 87,762 千円
 決算額 86,874 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			687	86,187

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習センター施設維持管理経費	86,874	1. 伊勢市生涯学習センター(いせトピア) 平成18年4月より、民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため指定管理者制度を導入し、平成21年4月からは第2期目の指定管理期間となった。(平成21年4月～平成26年3月) 指定管理者は、施設の維持管理ほか、各種講座やイベントを開催するなど、市民の生涯学習へのきっかけづくりに取り組んだ。 2. 二見生涯学習センター 市民が安心して快適に利用できるよう、施設の修繕等維持管理を行った。	223

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 8. 学習等供用施設費

(単位 千円)

予算現額 6,256 千円
 決算額 6,044 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			632	5,412

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学習等供用施設維持管理経費	6,044	市民が安心して、快適に利用できるよう施設の維持管理に努めた。	225

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 76,710 千円
 決算額 76,241 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		36,900	1,285	38,056

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持補修経費	38,924	施設運営に必要な維持補修工事として、会館の舞台吊物設備工事及び昇降機改修工事を施工した。	225

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 83,856 千円
 決算額 79,089 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,832	64,257

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	75,442	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	225
2. 教職員健康管理事業	2,384	県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	225

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 583,784 千円
 決算額 570,044 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,056	565,988

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	132,017	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	227
2. 学校給食施設維持管理経費	3,058	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努めた。	227
3. 給食施設整備経費	5,577	老朽化による備品の更新及び衛生を維持するために施設の改修を行った。	227
4. 中学校給食共同調理場管理経費	140,945	中学校給食共同調理場における「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、衛生面に重点を置き、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	227

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>食育推進事業</u>	699	<p>児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作することを目的に、栄養教諭・学校栄養職員、食育担当者が連携しそれぞれの地域にあった取組を実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における食育推進体制整備事業 業務委託 3校 ・地域の力を活用した特色ある食育推進事業 事業実施校 4校 ・給食調理士対象調理講習会 3回 ・食育担当者対象調理講習会 1回 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県委託事業『栄養教諭を中核とした食育推進事業』（委託料1,000,000円） 実践中心校3校 ・栄養教諭対象調理講習会の実施 ・給食調理士対象調理講習会の実施 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>近年、核家族化や共働家庭の増加により、子どもたちの食生活の乱れや健康等への影響が問題となっており、学校給食を積極的に活用しながら児童・生徒に効果的な食に関する指導を行った。</p>	227

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 65,819 千円
決算額 61,966 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			5,844	56,122

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯スポーツ推進事業	5,678	いせスポーツフェスティバルをはじめ、ウォーキング等の様々なスポーツ大会を開催し、市民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図ることができた。	227
2. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	2,900	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。 なお、平成23年度当初においては市内に6団体あり、会員数は総数約2,500人であった。 平成24年2月には、新たに市内7団体目の「ふたみふれ愛クラブ」が設立された。	227
3. 集客誘致大会開催事業	16,850	集客による伊勢市への経済波及効果及びスポーツ振興を目的に、全国規模の大会を開催した。 お伊勢さんマラソン(当日参加者数9,098人)、全日本ジュニア体重別相撲選手権大会(27人)、選抜社会人野球大会(500人)、神宮奉納全日本ソフトテニス大会(318人)、第23回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会(876人)の5大会を開催した。 (人数は参加選手のみ)	229

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 148,088 千円
 決算額 120,313 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
411		21,800	25,097	73,005

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 体育施設整備事業	8,348	主な事業 ①倉田山公園野球場 スコアボード修繕業務委託 1,628千円 ②市営庭球場 耐震補強設計業務委託 1,234千円 耐震補強工事 2,025千円 ③二見スポーツ公園 台帳作成業務委託 1,229千円 ④大仏山公園スポーツセンター 高圧機器改修工事 767千円	229
2. 倉田山公園野球場 改修事業	20,237	建築後40年が経過した倉田山公園野球場の改築を行うため、次の事業を実施した。 ①倉田山公園野球場設計業務委託 13,349千円 ※契約額 27,708千円の内14,359千円を次年度へ繰越明許 ②地質調査業務委託 1,932千円 ③測量業務委託 1,889千円 ④設計業務委託(グラウンド) 2,976千円 【当初予算における内容、計画】 ・当初予算額 50,651千円 ・目的 メインスタンドの耐震化をはじめとする安全性の確保及び施設利用時、観覧時の快適性の向上、並びに稼働率のアップを目的とする。 ・事業内容 ①メインスタンドの改築 ②内外野スタンドの改修 ③グラウンド人工芝の新設 【過去2ヵ年度の実績】 平成23年度新規事業。 平成22年度において体育施設整備事業でメインスタンドの耐震診断を実施した ・倉田山公園野球場耐震調査業務委託 2,362,500円 【事業取りまく状況等】 平成22年度にメインスタンドの耐震診断を行い、補強が必要であるとの判定が出たことにより、取り壊しを含め検討した結果、全面改築することとなった。 平成24年度からスポーツ振興くじ助成金(日本スポーツ振興センター)を受ける予定であったが東日本大震災の影響による助成予定額の大幅な減額があったため、社会資本総合交付金へ財源を切替える。	229

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 3,073 千円
 決算額 2,656 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	992		445	1,219

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 農地・農業用施設災害復旧事業	2,656	平成23年9月1日～4日にかけて発生した豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 ・16-1菌揚水機場操作盤修繕工事ほか1件 ・重機借上 神菌町地内ほか2件	頁 229

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 2. 林業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 3,644 千円
 決算額 2,343 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,890	200		253

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 林業用施設災害復旧事業	2,343	平成23年9月1日～4日にかけて発生した豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 ・ホラ林道災害復旧工事ほか1件	頁 231

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 7,360 千円
 決算額 7,357 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			300	7,057

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 漁港等災害復旧事業	7,357	平成23年7月19日に発生した台風6号により、豊北漁港海岸に流木等が漂着し、周辺海域を航行する船舶の支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。 ・漂着物撤去処分業務委託	頁 231

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 38,766 千円
 決算額 31,738 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,862		5,800	6,591	2,485

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 河川災害復旧事業	31,738	<p>平成22年10月8日から10日の豪雨及び平成23年7月17日から21日の台風6号及び豪雨、平成23年9月1日から5日の台風12号及び豪雨、平成23年9月20日から21日の台風15号及び豪雨により被災した箇所 の施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。</p> <p>(概要) 河川災害復旧 ◇公共土木施設災害復旧事業</p> <p>【補助分】 ①現年分 8件 L=79.7m 亀谷郡川左右岸 五十鈴川左岸(その1) 雲出川左岸 五十鈴川右岸 五十鈴川支川右岸 大倉川左岸 五十鈴川左岸(その3) (平成24年度へ繰越) 大倉川右岸 (平成24年度へ繰越)</p> <p>②平成22年度から繰越 3件 L=37.1m 亀谷郡川左岸 大倉川左右岸 小田古川左岸</p> <p>【単独分】 ①現年分 3件 L=18.5m 五十鈴川左岸(その2) 横輪川右岸 五十鈴川支川左岸</p> <p>②平成22年度から繰越 1件 L=24.6m 大倉川左右岸(その2)</p>	頁 231

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 3. 都市施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 7,905 千円
 決算額 3,841 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,562		1,200		79

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 都市公園災害復旧事業	3,841	平成23年9月1日から5日の台風12号及び豪雨により被災した箇所の施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。 (概要) 公園災害復旧 一式 2件 ◇公共土木施設災害復旧事業	頁 231

(款) 12. 災害復旧費 (項) 3. 文教施設災害復旧費

(目) 1. 公立学校施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 16,803 千円
 決算額 16,803 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
713				16,090

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 公立学校施設災害復旧事業	16,803	平成23年9月3日から4日の台風12号、平成23年9月21日の台風15号により被災した屋内運動場の防水補修等をした。 ・運動場修繕(城田小) 346千円 ・屋内運動場軒天改修工事(沼木中) 945千円 ・屋内運動場防水改修工事(城田小) 6,557千円 ・屋内運動場ほか防水改修工事(豊浜中) 8,925千円 ほか	頁 233

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,555,948 千円
 決算額 4,555,947 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			46,220	4,509,727

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,554,487	通常償還に加え、伊勢市平家の里の廃止に伴い起債の繰上償還を行った。 償還額合計 4,554,487,036円 通常償還額 4,551,951,765円 繰上償還額 2,535,271円	233

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	1,460	過去に三重県より市が借入した災害援護資金県貸付金について、それぞれ県に償還した。 (施策の概要) 災害援護資金県貸付金 … 1,459,507円 ・平成23年度上半期償還額 … 1,233,863円 ・平成23年度下半期償還額 … 225,644円 県貸付要綱に基づき、上記のとおり災害援護資金貸付金の償還を行った。	233

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 714,070 千円
 決算額 712,536 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			12,009	700,527

行政経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	712,468	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.2%~5.5% ・借入年度 昭和61年度~平成23年度	233

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,739,029 千円
 決算額 7,667,168 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,932,701	345,692		1,121,450	4,267,325

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,667,168	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 516,771件 (2) 年度平均被保険者数 33,441人	251

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 407,383 千円
 決算額 407,383 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			296,354	111,029

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	407,383	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 27,301件 (2) 年度平均被保険者数 1,442人	251

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 76,800 千円
 決算額 69,799 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,212	1,968			51,619

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	69,799	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 9,214件	251

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,120 千円
 決算額 3,015 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,193	822

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	3,015	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 462件	251

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 916,918 千円
 決算額 904,272 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
210,033	25,497		131,620	537,122

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	904,272	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 25,175件	253

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費

(目) 2. 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 63,175 千円
 決算額 63,026 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			45,849	17,177

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等高額療養費	63,026	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 806件	253

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 65,520 千円
 決算額 58,881 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,560				57,321

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	58,881	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 1 4 1 件	253

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 13,200 千円
 決算額 10,800 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				10,800

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	10,800	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 2 1 6 件	253

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 178,920 千円
 決算額 154,643 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,002	29,002			96,639

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業費	140,737	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 1 4, 2 7 7 人	257

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金 (項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金
 (目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金
 (単位 千円)

予算現額 2,282,874 千円
 決算額 2,268,932 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,268,932

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,268,932	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 950,137千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 218,653千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 11,064千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 48,206千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 1,040,872千円	頁 267

【介護保険特別会計】

○保険事業勘定

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 5,340 千円
決算額 5,085 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,085

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護保険推進協議会運営事業	772	本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るため伊勢市介護保険推進協議会を開催した。	281
2. 介護保険事業計画策定事業	4,313	介護保険推進協議会において事業計画を策定する際に、アンケートや計画を掲載した冊子の印刷、コンサルタント会社への委託を行った。	281

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 10,082,661 千円
決算額 10,031,517 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,353,757	1,451,375		3,007,720	3,218,665

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 居宅介護サービス給付費負担金	4,419,378	要介護被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給付費 支給件数 85,870件	283
2. 地域密着型介護サービス給付費負担金	901,654	要介護被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する保険給付費 支給件数 5,426件	283
3. 施設介護サービス給付費負担金	3,158,467	要介護被保険者が受けた施設サービス等に対する保険給付費 支給件数 12,846件	283
4. 居宅介護福祉用具購入費負担金	13,453	要介護被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付費 支給件数 538件	283

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 居宅介護住宅改修 費負担金	42,094	要介護被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 423件	283
6. 居宅介護サービス 計画給付費負担金	472,382	要介護被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計 画作成に対する保険給付費 支給件数 35,020件	283
7. 介護予防サービス 給付費負担金	343,451	要支援被保険者が受けた居宅サービス等に対する保険給 付費 支給件数 13,797件	283
8. 地域密着型介護予 防サービス給付費 負担金	12,577	要支援被保険者が受けた地域密着型サービス等に対する 保険給付費 支給件数 174件	283
9. 介護予防福祉用具 購入費負担金	3,522	要支援被保険者が購入した特定福祉用具に対する保険給付 費 支給件数 173件	283
10. 介護予防住宅改修 費負担金	21,161	要支援被保険者が行った住宅改修に対する保険給付費 支給件数 197件	283
11. 介護予防サービス 計画費負担金	42,769	要支援被保険者が介護支援専門員に依頼したサービス計 画作成に対する保険給付費 支給件数 10,011件	283
12. 高額介護サービス 費負担金	157,847	要介護被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額 を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 16,719件	283
13. 高額介護予防サー ビス費負担金	254	要支援被保険者が同一月に支払った自己負担額が基準額 を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 156件	283
14. 特定入所者介護 サービス費負担金	421,599	低所得の要介護被保険者が居宅サービス（短期入所に限 る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費 等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 12,740件	285
15. 特定入所者介護予 防サービス費負担 金	231	低所得の要支援被保険者が居宅サービス（短期入所に限 る）または施設サービスを利用したときの居住費及び食費 等に係る費用の一部に対する保険給付費 支給件数 40件	285

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
16. 高額医療合算介護 サービス費負担金	20,588	要介護認定者が支払った介護保険サービスに対する自己負担額と医療保険の自己負担額を合算した時、基準額を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 848件	285
17. 高額医療合算介護 予防サービス費負担金	90	要介護認定者が支払った介護保険サービスに対する自己負担額と医療保険の自己負担額を合算した時、基準額を超えた場合に支給する保険給付費 支給件数 15件	285

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 11,814 千円
決算額 10,628 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,657	1,329		3,188	3,454

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二次予防事業の対 象者把握事業	6,813	基本チェックリストの郵送、回収により二次予防事業の対象者(要支援・要介護になるおそれのある高齢者)を把握し、生活機能が低下している方の早期発見につなげた。 70歳代を中心に、16,170通を郵送し、内9,441通を回収し、2,318人の二次予防事業対象者が把握できた。	285
2. 運動器機能向上事 業	681	基本チェックリストの結果、運動器の機能が低下している高齢者を対象に、転倒骨折予防教室を開催した。筋力トレーニングや体操等を行い、転びにくい体づくりに取り組んだ。 延べ101回、395人の参加を得て要介護状態になることを予防した。	285
3. 口腔機能・低栄養 改善事業	252	基本チェックリストの結果、口腔機能が低下している高齢者を対象に、口腔訓練教室を実施した。口の健康を保つための相談や嚥下機能が向上する訓練などを集団指導や個別の相談で行った。 延べ32回、80人の相談指導を行い、口腔機能の向上を図った。 また低栄養状態に陥る高齢者を対象に、栄養状態を改善するための食べ方や食事作りなどの個別相談を行った。 延べ10回、17人の相談指導を行った。	285
4. 認知症予防事業	911	基本チェックリストの結果、認知機能低下の恐れのある高齢者を対象に、脳活性化教室を実施した。脳機能検査により脳の働き具合を把握し脳を刺激する生活改善リハビリや音楽療法などを行い認知症予防に努めた。 延べ74回、237人の参加があり、参加者の脳機能の改善・維持がみられるなど、要介護状態になることを予防した。	285

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 訪問型介護予防事業	38	基本チェックリストの結果、運動器の機能低下や脳機能低下等があり、介護予防事業への参加が望ましいと認められるが通所が困難な市民を対象に訪問指導を実施した。保健師や看護師などが延べ9人に相談指導を行った。	285
6. 介護予防普及啓発事業	1,851	65歳以上の高齢者を対象に、中央保健センター及び地域において介護予防講座、すこやか教室（老人クラブ）、通所型介護予防事業、訪問指導などを実施し、延べ197回、3,475人に要介護状態になることを予防するための様々な知識の普及啓発を行い、介護予防の推進に努めた。	285
7. 地域介護予防活動支援事業	82	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されるよう認知症予防や転倒骨折予防を目的とした自発的な活動の育成・支援を行った。 延べ359回、4,397人が活動を行い、その内の延べ58回、856人に支援を行い、活動が継続された。	285

(款) 3. 地域支援事業費

(項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 145,825 千円
決算額 137,150 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,720	29,360		1	49,069

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	20,461	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 クーポン券配布者数 441人	287
2. 介護給付費等費用適正化事業	3,246	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 4回	287

長寿課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防ケアマネジメント事業	140	要支援・要介護状態になる恐れがある高齢者（二次予防事業対象者）に対して、保健師が家庭訪問等を通じて、介護予防事業の参加勧奨を行い、介護予防の推進に努めた。	287

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																
2. 総合相談事業・権利擁護事業	5,176	高齢者の生活を福祉、介護など総合的に支えるため、高齢者本人及び家族からの相談に対して、さまざまな制度や社会資源の紹介や支援を行った。また、高齢者虐待、成年後見制度等の啓発を行った。	287																
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	3,251	包括的・継続的なケアマネジメントが行えるよう、関係機関との関係づくりに努めるとともに、地域の介護支援専門員への助言・支援及び資質向上研修への協力を行った。	287																
4. 地域包括支援センター運営事業	51,500	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	287																
5. 在宅介護支援事業	6,304	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行った。	287																
6. 食の自立支援事業	9,263	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、栄養改善が必要で買い物と調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防・生活支援を行い、高齢者への福祉の増進を図った。	287																
7. 高齢者住宅等安心確保事業	10,356	<p>高齢者の生活面・健康面での不安に対応するため、高齢者向け有料賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し生活指導・相談、安否確認、一時的な家事支援、緊急時の対応などのサービスを提供することによって高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう自立した在宅生活を支援した。</p> <table border="0"> <tr> <td>援助内容</td> <td>述べ件数</td> </tr> <tr> <td>生活指導・相談</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>安否確認</td> <td>28,162件</td> </tr> <tr> <td>一時的な家事支援</td> <td>1,318件</td> </tr> <tr> <td>緊急時対応</td> <td>74件</td> </tr> <tr> <td>関係機関との連携</td> <td>206件</td> </tr> <tr> <td>その他必要な援助</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,778件</td> </tr> </table>	援助内容	述べ件数	生活指導・相談	10件	安否確認	28,162件	一時的な家事支援	1,318件	緊急時対応	74件	関係機関との連携	206件	その他必要な援助	8件	計	29,778件	287
援助内容	述べ件数																		
生活指導・相談	10件																		
安否確認	28,162件																		
一時的な家事支援	1,318件																		
緊急時対応	74件																		
関係機関との連携	206件																		
その他必要な援助	8件																		
計	29,778件																		

○介護サービス事業勘定

(款) 1. 事業費 (項) 1. 介護予防サービス事業費

(目) 1. 介護予防サービス事業費

(単位 千円)

予算現額 30,462 千円
 決算額 29,366 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			9,327	20,039

長 寿 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防サービス 計画作成事業	10,779	介護認定審査会において、要支援1または要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防ケアマネジメントを行い、要支援状態の改善や重症化予防を行った。	293

【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 6,292 千円
 決算額 5,250 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			5,250	

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐車場管理運営経費	5,250	宇治浦田街路広場及び、五十鈴川河川敷を平成24年3月1日伊勢市営宇治駐車場として有料化し管理業務の委託を行った。 【駐車場使用料収入】平成24年3月 28,371,100円 【利用台数】平成24年3月 52,033台	313

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 2. 事業費 (目) 1. 事業費

(単位 千円)

予算現額 418,052 千円
 決算額 291,381 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			23,121	268,260

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>駐車場整備事業</u>	291,381	<p>内宮周辺への交通の集中によって交通渋滞が頻繁に発生するなど、同地域周辺の交通環境の悪化は、来訪者の不満のみならず、地域住民の生活にも支障をきたしている。渋滞の原因のひとつである駐車場容量不足を軽減するため、長期間・長時間駐車を排除し駐車機能の向上を図るとともに、交通対策の充実を図るため、有料化整備を行った。また、駐車場の満空情報を発信するための誘導案内板の整備を進めた。</p> <p>【宇治駐車場】 設計業務 一式 3件 (平成24年度へ一部繰越) 整備工事 2件 照明灯設置 2件 (平成24年度へ一部繰越) 管理棟設置 1件 料金システム整備 1件</p> <p>【五十鈴公園】 測量業務 一式 1件 設計業務 一式 2件 整備工事 1件 (平成24年度へ一部繰越) 照明灯設置 1件 (平成24年度へ繰越)</p> <p>【内宮前駐車場】 管理棟設置 1件 (平成24年度へ繰越) 料金システム整備 1件 (平成24年度へ繰越) 整備工事 1件 (平成24年度へ繰越)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 438,150,000円 ・測量設計等業務委託 2件 ・駐車場等整備工事 4件</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成23年度からの新規事業 (ただし、平成21年度において、街路施設改良事業(一般会計)にて宇治駐車場の測量及び詳細設計を実施済。)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成24年3月1日から宇治駐車場を有料化し、市が運営しているが、内宮前の駐車場についても市が管理し、有料化することとなった。 ・平成24年度への繰越事業において、内宮前駐車場の有料化整備を行うとともに、各市営駐車場の満空情報を表示し、駐車場へのスムーズな誘導を促すための誘導表示板の設計を進め、平成24年内に国、県、市道等に設置する予定である。</p>	313

都市計画税の充当状況

都市計画税は、「都市計画法」に基づいて実施する都市計画事業の財源として課税する目的税であるため、本市では一般会計の歳出において下表のとおり各事業に充当した。

(単位：千円)

事業名	都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳			一般財源のうち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	一般財源	
街路整備事業	352,486	155,876	181,200	15,410	14,446
八日市場高向線整備事業（交付金）	183,367	96,684	82,300	4,383	
八日市場高向線ほか1線（2工区）整備事業	113,388	59,192	51,400	2,796	
宇治山田駅前広場整備事業	30,010	0	28,500	1,510	
県営事業地元負担金（街路分） ※	12,099	0	9,200	2,899	
【繰越】県営事業地元負担金（街路分） ※	13,622	0	9,800	3,822	
公園整備事業	32,567	21,538	10,400	629	590
高向西公園整備事業（防衛）	32,567	21,538	10,400	629	
公債費（都市計画事業分）	604,876	0	0	604,876	567,028
旧伊勢分	490,268	0	0	490,268	
旧二見 H18借入以降分	0	0	0	0	
旧小俣 H18借入以降分 （下卯起宮川駅野依橋線）	54,876	0	0	54,876	
旧御菌 H18借入以降分 （八日市場高向線ほか1線、秋葉山高向線、高向神田線）	59,732	0	0	59,732	
下水道整備事業	939,933	0	4,900	935,033	876,527
公共下水道事業繰出金（建設改良事業費）	29,523	0	4,900	24,623	
公共下水道事業繰出金（地方債償還金・旧伊勢分）	832,403	0	0	832,403	
”（地方債償還金・旧二見 H18借入以降分）	17,307	0	0	17,307	
”（地方債償還金・旧小俣 H18借入以降分）	29,126	0	0	29,126	
”（地方債償還金・旧御菌 H18借入以降分）	31,574	0	0	31,574	
合 計	1,929,862	177,414	196,500	1,555,948	1,458,591

※県営事業地元負担金（街路分）は、次の県事業が対象です。

- (1) 無電柱化推進事業 (2) ウォークギャラリー整備事業 (3) 地方特定道路整備事業（街路）

【費目別不納欠損の状況】

※上段()書は平成22年度実績値

(単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
○一般会計				
市税				
市民税		(1,144)	(49,841,786)	課税課(収税課)
		1,206	46,162,388	
	消滅時効	1,065	32,893,682	
	処分執行停止の継続	50	5,227,263	
	無財産等徴収不能	91	8,041,443	
固定資産税		(736)	(101,299,574)	課税課(収税課)
		791	95,430,935	
	消滅時効	744	70,017,177	
	処分執行停止の継続	18	18,826,317	
	無財産等徴収不能	29	6,587,441	
軽自動車税		(836)	(5,466,600)	課税課(収税課)
		811	4,272,500	
	消滅時効	759	3,849,100	
	処分執行停止の継続	15	112,800	
	無財産等徴収不能	37	310,600	
都市計画税		(736)	(15,754,172)	課税課(収税課)
		791	14,747,385	
	消滅時効	744	10,820,075	
	処分執行停止の継続	18	2,909,317	
	無財産等徴収不能	29	1,017,993	
分担金及び負担金				
知的障害者施設入所負担金		(0)	(0)	障がい福祉課
	消滅時効	2	1,301,400	
保育所負担金		(14)	(1,025,770)	子ども課
	消滅時効	58	3,882,460	
諸収入				
特別障害者手当等返還金		(0)	(0)	障がい福祉課
	消滅時効	1	14,430	
一般会計 計		(3,477)	(292,990,005)	
		3,660	165,811,498	
○国民健康保険特別会計				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(1,476)	(167,230,837)	医療保険課
		1,385	131,966,722	
	消滅時効	1,385	131,966,722	
国民健康保険税				
国民健康保険税		(126)	(9,320,000)	医療保険課
		53	5,336,100	
	消滅時効	53	5,336,100	
国民健康保険特別会計 計		(1,602)	(176,550,837)	
		1,438	137,302,822	

費 目	事 由	対 象 人 数	不 納 欠 損 額	所 管 課
○後期高齢者医療特別会計				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(35)	(1,131,479)	医療保険課
		29	822,440	
	消滅時効	29	822,440	
○介護保険特別会計				
保険料				
介護保険料		(336)	(10,519,100)	介護保険課
		314	7,784,600	
	消滅時効	314	7,784,600	
○農業集落排水特別会計				
使用料及び手数料				
荘地区過年度使用料		(0)	(0)	料金課
	消滅時効	1	13,300	
西地区過年度使用料		(2)	(49,000)	料金課
	消滅時効	1	8,000	